京城日報

十一月七日夕刊（朝夕併せて八頁）

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

◇獨皇帝退位要求 還宮後何等かの處決あらん

[illegible]事内閣は皇帝退位問題[illegible]なるが一方巴威、ヘッ[illegible]團體は續々現皇帝[illegible]皇帝は數日間の鎮定を[illegible]伯林還宮後何[illegible]如く皇帝の大本營訪問に[illegible]

◇議員獨帝退位反對

[illegible]

◇伊太利捷報祝電

[illegible]伊太利國土[illegible]

◇英飛機メッツ攻撃

[illegible]攻撃を行へり（東京特電）

◇チ軍過激派に投ず

[illegible]人に買收せられ同地の[illegible]師團も亦過激派[illegible]

◇後繼內閣困難

[illegible]

◇徐樹錚通過

[illegible]

◇聖上御追悼

[illegible]

◇對露貿易將來 共同的行動肝要

[illegible]否や最近の露國向き輸出品種に依りて察するに必ずしも悲觀を要せざるも長く將來の發展を期せんと欲せば特に粗製品濫造を謹みて品質の改良に努むるは言ふ迄もなく從來の如き個々の競爭を排して萬事共同的行動を執り露人に親近して其趣味を察し之に適合する樣努めざるべからず（農商務當局談）

◎間島在留內鮮人最近狀況

間島總領事館頭道溝分館管内に於ける內鮮人の職業其他を聞くに商埠地二百三十二戸商埠地外五千八百二戸にして商埠地内に於る人口は男五百五十二人女四百七十八人計一千二十二人

▲重なる職業 は雜穀商、雜貨商、旅人宿、飲食店、料理店、藥種商等にて何れも商埠地外部落の居住者を相手とす農繁期に入りては市場閑散なるより商況振はざるも秋冬の季に至らば各部落農民が收穫物（主に雜穀牛）を市場に搬出し賣買するを以て市場俄に殷賑を極め市內商家は大多忙を極む市場は昨年末より逐次發展し殊に本年に入り人口の增加著しきを見る商埠地外に於ける人口は男一萬六千九百七十四人女一萬五千三十九名計三萬二千十二名何れも農業に從事し

▲年々移住者 [illegible]

[illegible]に至れりされど之が水田要地たるや多く灌漑に便なる平野たらざるべからざるも平野は重に支那人所有地に接續せるを以て租借若くば購入に付いては高價なる租料と地價とを支拂はざるべからず從つて其の不便不利勘からざるも之が

▲開拓に努め 年々增加し當管內八百晌（一晌は我三反強一斗は我四升にして十五斗を一石とす）の多きを見に至れり

▲毎年舊四月 端午前に播種は苗九月中降霜を見て收穫す常作にしては上等地にて一晌地平均二十石下等地は十二石の收穫を見るを普通とす小作人は普通收穫を折半して收穫し居れりと

◎高等土地調査委員會事務掌程改正

總督府高等土地調査委員會事務掌程中改正の件は五日附官報號外訓令を以て發表の筈なり

◎委員會事務局定員

高等土地調査委員會の事務を掌理する爲五日附勅令を以て高等土地調査委員事務局を設置されし事は既報の如くなるが定員は左の如し

▲局長 總督府高等官
▲事務官 專任五人 奏任
▲[illegible]官 專任五人 奏任
▲[illegible]通譯生 專任五十八人 判任

◎[illegible]會議日程

來る二十六日より總督府會議室に於て全道[illegible]學校[illegible]開會すべきが其日程左の如し會議は毎日午前九時半開[illegible]時散會すべしと
[illegible]日總督訓示、諮問事項▲二十[illegible]事項▲二十八日同上▲二十九日[illegible]項打合▲三十日打合

◎出征部隊の後送 急行發着も變更か＝輸送方法擬議中＝終了期未定

[illegible]

▲軍隊數 [illegible]

▲輸送策 に付擬議したり然るに當局に於て多數部隊の輸送準備の時に多數部隊の輸送を申[illegible]鐵道當局に於ては到底現行の列車に運轉せしむるは機關車車輛の關係に於て許されず乃ち列車の運轉に削加へ或は朝夕二回の急行列車發著にも多少の變更を行ふの止むを得ざるものあるべしと聞く唯目下朝鮮[illegible]時に際會し加ふるに嚴冬を控へ石炭の輸送頗る繁忙の狀態にあり更に一般交通の頻繁は乘客數を益多からしめつゝある際特別輸送の再開は乘客荷主ともに鐵道當局の苦痛少からざるべきが出征軍隊輸送の爲とあれば止むを得ざる可し

◎土地調査行賞

朝鮮土地調査終了に付該事業に關係ありし左の諸氏に對し頭記の如く行賞行はれたり（鈴木穆、俵孫一の兩氏は既報せしに付省略）

正四位勳四等 敍勳三等授瑞寶章 [illegible]四郎
從五位勳五等 敍勳四等授瑞寶章 中田三郎
從五位 敍勳五等授瑞寶章 和田一郎
從五位勳五等 授雙光旭日章 赤崎參輔
正六位勳六等 敍勳五等授瑞寶章 牧[illegible]
從六位勳六等 授單光旭日章 工藤壯平
從六位勳六等 授單光旭日章 谷武松
正七位 敍勳六等授瑞寶章 權[illegible]
朝鮮總督府政務總監正三位勳一等 山縣伊三郎
賞勳局總裁伯爵從三位勳一等 兒玉秀雄
金盃一組ヲ賜フ 荒井賢太郎
慶尚南道長官 佐々木藤太郎
平安北道長官 藤川利三郎
總督府事務官 久芳直介
李王職事務官 近藤左右一

青島民政長官法學博士 秋山雅之介
陸軍少將 土屋喜之助
總務局長 荻田悦造
京畿道長官 松永武吉
全羅北道長官 李軫鎬
慶尚北道長官 鈴木隆
休職[illegible]道長官 [illegible]
平安南道長官 工藤英一
咸鏡南道長官 李圭完
黄海道長官 申應熙
忠清南道長官 桑原八司
正四位勳三等 川上常郎
正五位勳六等 阿部惠三郎
總督府事務官 河内山樂三
金盃一箇ヲ給フ
從三位勳三等 稻垣直右
咸鏡北道長官 上林敬次郎
中樞院參議 朴重陽
農商工部長官 小原新三
全羅南道長官 宮木又七
銀杯一組ヲ賜フ

◎辭令

今回左の通り辭令ありたり

總督府判事 中島覺三
任總督府税關監視官兼税關事務官（七等）
仁川税關監視課長兼税務課長を命す
道慈惠醫院醫長 國見儀作
同 田中半二郎
依願免本官（以上五日附）
總督府事務官 和田一郎
同 參事官 大塚常三郎
普通試驗委員を命す（六日附）
總督府道書記 李[illegible]
任總督府郡守（八等）
忠清南道燕岐郡在勤を命す

◎米及籾の輸入税免除に就て（上） 需給の調節を圖れ 日吏農業經濟家談

米價調節の根本策として米及籾に關する輸入税撤廢の件に關しては去る三十日勅令を以て發布されたが之が効果に就ては世間多大の期待を有するが如く右に就き夙くより輸入税撤廢を主張し居たる某農業經濟家の談に曰く

米價暴騰の結果久しく世人の論題となつて居つた米及び籾の輸入税免除は客月三十日勅令第三百七十三號及び第三百七十四號を以て愈々實現せられ是に依て明治四十三年法律第五十四號關税定率法第六條に定められたる米及び籾の輸入税毎百斤一圓の賦課は大正八年十月三十一日迄即ち今後一箇年間免除せらるることとなつた此輸入税免除が米價調節上如何なる力を有するものであるか又延いては農家經濟上如何なる影響を及ぼすものであるかといふことは苟くも農業に關係ある吾々の須らく

▲研究を要す べき問題であるさりながら經濟界の事柄は極めて複雜であつて經濟上只一つの事實に依つて生ずる影響が時に意外の現象を惹起すが如きことは敢て稀でない夫故米籾の輸入税免除が米價調節上如何なる効果があるかといふことに就いては輕々に之を論斷することは出來ぬが私は世間多くの人の考へて居る程に大なる効果ありとは俄に首肯することが出來ない素より輸入税免除の聲が米價昂騰の氣勢を弱め市場に於ける買氣勢を緩和することに對しては多少の効果あるべきは疑ひない所であるがさりとて米價の狀態今日の如き時に於て一石僅かに

▲二圓內外の 輸入税免除が此の昂騰せる米價を大いに低落せしめ得る程の力ありとは思はれない元來今日の米價暴騰は通貨の膨脹による一般物價の騰貴、農家の懷好きに基づく米の賣控へ、大正六年の豐作ならざりし事船腹の缺乏による外米輸入の減少交通機關の梗塞等各種の理由に依る米穀の貿米市場に出廻り額の少かつた一方農業者及び勞働者の生計の昂上及び代用食料品の價格騰貴等と相俟つて米の消費を增加し斯くして需要と供給との均衡が失はれたのに起因する所大なるものであるから米價の調節には先づ

▲需給の調節 を圖ることが第一要義であらねばならぬ即ち需給の調節を圖らずして徒らに最高價格の指定とか其他各種の人爲的干渉を加へたとて到底米價引下げの目的を達し得られやう筈はない、されば輸入免除が米價調節上如何なる効果を齎し來るかといふことは此事が米の需給關係に對し如何なる力を有せりやを攻究することによつて決定する然るに外米輸入の多少が米價の調節に關係あることは明かなる事實であるから此場合は輸入税の免除が外米の輸入を促すの力大なりや否やを

▲考察すれば 充分であつて若し能く外米の輸入を促すの力大なりとせば輸入税免除は米價調節上有力なる方法であるといふことが出來る

◎在鮮鑛業家の北進

西伯利地方に於ける砂金鑛の豐富なるは何人も周知する處なるが偶々我軍の出征に際し一層事情明瞭となるや斯業に志す人々は競ふて奥地に深く入込みつゝあるが最近西伯利砂金鑛を視察歸來者の談を聞くに其の豐富にして且つ有望なる者は寧ろ想像に餘りあり目下該地方の資源を開かんとして四方より蝟集せる鑛業家尠からず就中在鮮鑛業家にして逸早く奥地に入込み既に相當利益を收めつゝある者ありと聞けるが斯の如き傾向は軈て一般鑛業界に響應し多數の北進を見るに至るべく併も各方面の異あるを想はしむるものあり左れば此際北進者の最も注意を要するは鮮內鑛業と同日の論ならざるも砂金地を一瞥するに其の有望なるは西伯利奥地は目下殆ど無政府の警察狀態なるを以て若し濫りに猪勇を衝ひ深く入込むが如きは頗る危險にして最も安全なるは坑夫相手の砂金買收なりと

◎京管當局意向 運賃改正と連帶申込貨主の打撃

來る十一月一日より朝鮮鐵道にては殆ど總長距離運賃の撤廢を行ふ結果今春以降鮮內各驛より

▲內地連帶 の長距離輸送を申込める各荷主は自然運賃を引上げらるる形となり既定の舊運賃により商談を整へし分は打撃少からずとの聲あるが右に對し滿鐵京管の主腦當局は曰く十一日より長距離運賃撤廢の結果運賃の引上げを事實に於て行はるべき從前の連帶申込み貨物は二種あり乃ち（一）既に停車場に輸送を求むるため現品を持ち込み居れるもの（二）は現品を驛に搬入せず唯實在貨物を驛員に示して輸送の申込みをなせるものに分つべし理論より云へば鐵道運賃の引上は

▲二週間前 出貨者に通告をなすのみにて事足り然れども既定運賃に採算を置きて商談を內地との間に整へ既に現貨物の輸送を停車場に搬び込み依頼し居れる向に對しては其の事情大に諒とすべきもののあり此點に於て何等かの方法により出來得る限り便宜を圖るべく目下折角考慮を運らし居れり然もその量は多からざるべし唯停車場に搬入の連帶申込み貨物に對しては[illegible]

▲各種の關係 より無條件に運賃改正實行の承認を求むるの外なし

◎京管課長更迭

滿鐵京城管理局經理課長加藤正美氏は今回農商務省山林事務官に轉任秋田大林區署長に就任したるを以て其結果左の如く七日發表せり

依願解職 經理課長 [illegible]
京管經理課長 經理課監督主任 大内[illegible]
京管經理課[illegible] 加藤正[illegible]

尚ほ加藤氏は這般の農商務省大更迭の結果空位を生じたる秋田大林區署長就任に附諸種の關係上取急ぎ[illegible]

◎殖銀會議（第二日）

殖産銀行にては七日午前十時より樓上會議室に第一回主要店長會議開會三島頭取有賀中村櫻井各理事以下主要職員支店長列席三島頭取の挨拶後日程により直ちに議事に入りたり尚ほ第一日に於て鈴木度支部長官の演述ありしと

[illegible]ぎ居り八日午前八時四十分南大門驛發列車にて出發赴任すべしと

◎家屋税及府税

京城府税務係りにては本年度第二期分家屋税告知書二萬二千通を本月一日より五日迄に全部約束郵便を以て發送を了し府税第二期分一萬八千通は五日より七日までの間に於て發送の手答なるが何れも其の指定納期は本月末日なれば速かに最寄郵便局所又は府金庫に納付すべし

◎徐將軍通過

支那政府より派遣せし大演習陪觀の上將軍徐樹錚氏外將官四名佐官五名文官四名書記三名合計十三名の一行は五日北京出發七日午後七時二十五分南大門驛着同五十分發列車にて內地に向ふべし

◎高島中將出發

第十九師團長陸軍中將高島友武氏は秋川參謀帶同六日午後八時龍山驛發列車にて大演習陪觀のため內地に向へり

◎忘機吟社例會

忘機吟社例會は來る十日午後一時より大和町三丁目曹谿寺に於て開催する由なるが當日の課題は席上にて發表すべしと

◇大邱より啓上　鯨洋生

十一月六日午前八時四十分南大門驛發、大邱に向ふ、此の行隨行記者懇親會に臨席せんが爲也。車中先づ西鮮日報社長谷川維行君、京日報の小川君と邂逅、互に久濶を述べて行を共にす。但し兩君の旅行目的も余と同じ。行くく朝來の曇天漸く晴れ、窓外の秋色正に老いんとす。大田驛に至れば木浦新報主筆長野君も亦來り會し一行大に賑ふ、秋風嶺を越れば天愈々晴れて、汗背に滲む。四顧の風色猶ほ秋の半ばにあり。黄葉は、綠葉と夕陽に閃き、西洛東村秋一色、小春の眺望に却々に捨難し。午後五時大邱驛着、朝鮮民報の河野君、我支局長佐々木氏等の諸君の出迎へを受け、一行は相携へて唯家に入り、一時休憩後、佐々木君の案內にて一應市中を巡廻す。白堊の樓門上、彩旗風に翻つて軒燈順列、正に共進會の氣分滿るものの如し。明七日より愈日程に入る。

人事消息

▲西村正則氏（代議士）七日朝釜山上陸北行（釜山特電）▲賀田金三郎氏（東京實業家）同（釜山特電）▲[illegible]平氏（總督府土木局技師）七日朝釜山上陸北行（釜山特電）
▲吉田勝太郎氏（大日本麥酒會社京城出張所長）六日夜三週間の豫定にて東上▲三木正夫氏（神戸三菱造船所長）[illegible]六日夜退京

茶前酒後

◆戰後に國際聯盟を造り、軍備を制限するといふは、理想として申分なきこととなるが、之を實行するにつき、種々の困難に遭遇せざるを得ず。第一現在の狀態にては、全世界の武裝を解くことは不可能なるを以て、聯盟各國は、其の人口及び領土に比例して代表的軍隊を出し、又海軍も其の領土の沿海線に割り當て、相當の艦艇を出して、之を要處々々に配置するといふ如き議論あり。獻立は面白からざるにあらざるも、さて之れを事實に現はすことには、如何なる現象を呈すべきぞ。

◆いふまでも無く世界に於ける領土の最大なるは英國なり。又領土の海岸線の最も長きものも英國なり。露國は其次なるも、其の國狀が如何に成行くや知るべからざれば、暫く之を除外することとせば、次は米國ならざるべからず。

◆今前述の方法に因りて聯盟陸海軍を組織すとせば、海軍の如きは其の艦艇の百中九十まで英米の出品たるは勿論、陸軍も亦百中七八十まで英米人の占むる所たらざるを得ず。即ち全世界の軍備はアングロ、サキソンに依りて占領せられ、他民族は唯々諾々として唯命是從はざるを得ざるに至らん。而して世界の平和は、一にアングロ、サキソンの力に依りて維持せらるることなるべし。

◆吾人はアングロ、サキソンの高尚なる民族なるを信ずと雖も、世界唯一の權力者として之を仰ぐには、多くの恐怖と多くの疑惑を懷かざるを得ず。軍備の制限が此の如くにして行はるべくんば、吾人は寧ろ死を賭してリーグの外に立たんのみ。

◆列國獨逸を要制する休戰條件は過峻過酷、結局腰骨の折れるまでドヤシつけ、一たび仆れて復起つ能はざるを程度と爲さんとするに似たり。是れ世界の平和を亂せる罪に對し、其の刑罰を科するに於いて當然ならんも、獨逸としてはオイソレと承服し能はざることも亦當然なるべし。何となれば此の如き條件の下に屈服するは、何時にても爲し得べきことにして必ずしも今日に限らざるを以てなり。

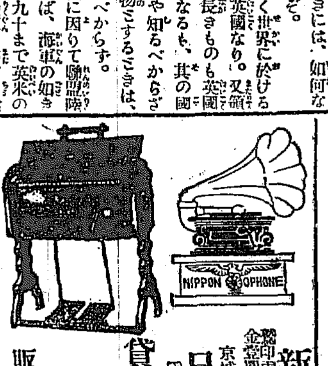
◆果然ヒンデンブルグは依然として現職に止まり、獨帝は[illegible]の退位要請に[illegible]足で砂をかけ、[illegible]然として七よ[illegible]去れりと傳へらる。[illegible]末の獨逸の國狀は見物なり。

◆獨逸は果して最後の一兵まで戰はんとするか。さらば先づ國內に於ける社會黨非戰派を壓倒せざるべからず。而も之がために國內の四分五裂を來たさば、恐らくは露國の跡を追ひ、第三の露國たらんのみ。

木炭　平壤栗（卸小賣）
根炭　白炭　山成り德用品
手撰德用品虫喰なし
御用の御方は電話三〇八番に御用命被下候へば即時配達可致候
京城本町三丁目
貿易雜貨商　藤富國太郎商店
電話三〇八番　振替京城一七七八番

ストーブ新荷著
和洋ストーブ
附屬品一式
煙突製作
板硝子
ペイント塗料
京城本町二丁目
岩見商店
電話貳一參番

新荷著
鷲印兩面版は定價より三拾錢引壹枚金壹圓二十錢
京城本町二丁目廿九番地
日本蓄音器商會
電話一八三番　振替京城六八四番



貸オルガン有ます
【目録無代贈呈】
京城本町二丁目一九番地
山葉樂器朝鮮代理店
販賣元　釘本樂器部

背廣服
最新荷著　最新式仕立
▲甲（ラクダメルトンス　コッチメルトン）金五拾貳圓
▲乙（斜子綾コッチメルトン）金四拾四圓
▲丙（同上）金參拾九圓
オーバコート
▲甲金五拾貳圓、乙金四拾五圓
▲丙金四拾圓
●長トンビ、婦人コート其他種々御懸可申候
●地方は御申越次第見本と寸法取調御送付可申上候
●送料鮮內三十錢　外五十錢
京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番
京城日報社代理部

得用　第一煙突！
二十八番板（十枚モノ相當）
徑四寸長參尺
壹本ニ付　金七拾五錢
京城本町
釘本藤次郎本店

白鶴
愛飲家各位に敬告
近來粗惡なる他の清酒を白鶴印と稱して販賣する者往々有之候に付弊社は愛飲家各位の御安心と御滿足を得んが爲茲に元詰壹升壜詰酒を各特約店に托し破格の直段を以て販賣仕候間不相變御愛顧願上候
拾壹月中迄京仁地方賣價
白鶴印一升壜入壹本　金壹圓卅五錢
釀造元　嘉納合名會社

我兵凌辱さる　暗の中から『止れ』

「木村覺悟を爲ろ」「オイ惡闘々々言はず殺すなら殺せ」

◇最近兎角＝如斯事件發生せんとす

齊多にて　從軍記者　早川磐溪

一時日本の威武に畏れ居たる露西亞兵も最近日本兵が寬容態度に出づるため、氣やゝ驕りたるものの如く、ほつ〳〵日露兵の小衝突を見るに至りたるが去る二十六日夜西伯利政府軍の我兵に對する凌辱事件ありたり、凌辱を加へられたる第一チタ重砲兵聯隊木村一等卒語つて曰く

『私は小本上等兵と二十六日の朝師團司令部に來て或る命令を果した後、同夜十時頃兵營に歸る可く途をチタ鐵橋に取つた、其夜は雪が降つて道は暗く寒さは身に沁みるので道を急いで行くと、突然行手の鐵橋の上から『止れ』と鋭い聲が掛つた、見ると

西伯利政府の兵卒が突立て

居たので、簡單な擧手をして行き過ぎようとすると、頑として通さぬ、止むなく結氷したチタ川を渡渉す可く…

零下十五六度の寒さは襲ふ、劍はギラ〳〵光る、其中で裸にされたのだから苦しいやら、薄氣味悪いやら、全く一思ひに殺された方が宜いと思つた位ひであつた、斯て三十分許り經つと六名の兵が護衛して衛所に連れ込んだが途中捷れた二人を銃の臺尻で擲つたり、蹴り飛ばしたりしたので我々は

齒噛みして幾度か

殺せ、殺せ

と叫んだ衛所に著くと暗い一室に放り込んだなり翌朝になつても飯を與へないどうかして脱走したいと思つたが衛兵が見張つてるて逃げ出す隙もない、思案の末便所に行くと稱して戸外に出たならば日本兵が居るだらうと思つて午前十時頃便所に出ると日本兵が三人許り通りかゝつたので大聲で呼び止め、事情を明して我軍に報告して異れるやうに依頼した』木村一等卒の談話は右の如くであるが急報に接した我師團司令部にては參謀將校を派してセミソン衛戍司令官に面接せしめ、日本兵に不都合あらば何故司令部に報告せざるか

拘禁は凌辱なりと結責せし

にセミソン大佐

は平謝まりに平謝まり其翌日も司令部を訪ひて陳謝する處あり漸く解決されたるものなるが日本軍の出征以來言語不通のため往々誤解を招く事あり殊に最近は露兵が我兵を輕侮する傾向あるなどの爲日を經るに從つて斯の如き事件頻發すべければ司令部にては嚴重に將來を戒め置きたりと

◎惡感冒　病源菌

北里研究所にて確定

北里研究所にては目下惡性流行性感冒に就き研究中のところ右病源は千八百九十二年パイフォ氏の發見したるインフルエンザ菌に原因するものなる事を確認したりと（東京特電）

◎元山の羅病者一萬人

現在千五百名

元山に於ける例の流行性感冒に羅れる患者は七日迄の累計一萬人を算し現在患者千五百人を算せり學生の罹さるゝ者は比較的少數にて全學生の約一割の缺席者を見るのみなり（元山特電）

◎國母陛下　上野御成

◇國寶御台覽◇

皇后陛下には豫て仰出されたる如く六日午前九時三十分御出門上野公園東京帝室博物館内表慶館に行啓神谷主事以下の奉迎を受けさせられ便殿に入御御少憩の後高野山法隆寺其他より寄贈の古佛畫並に國寶繪畫等を御巡覽在らせられ正午別殿に於て午餐を召させられたる上午後一時御出門不忍池畔なる農商務省主催工藝展覽會並に發明展覽會に行啓各室を御巡覽の後御機嫌麗しく御還啓遊ばされたり（東京特電）

◎相模灘の波も靜かに……

煙霞に療養する寺内伯

―大磯第二滄浪閣の上棟式―

淘綾の濱、鴫澤の邊、興蘭けて

前首相寺内元帥は煙霞に療養す可く別莊を大磯に營むため去年の春頃から閑靜の地區を物色して居られたが今春愈々適當な土地が見當つたので地均工事を始め陸軍省の田村技師設計の下に清水組が建築工事を請負つて最早大體の骨組が出來上がつたので十一月三日に上棟式を擧行した前日の雨雲は夜の…

別邸といへば

輪奐宏壯のやうに想像せられるが實は招仙閣を取毀ちた跡に殘つてる離れの一棟で二階が三室階下が四室それに勝手元と浴室とがあるだけでこゝに元帥の…（のは朝鮮以來の大兵肥滿、看護婦及び炊事夫、間使の少女とある）に過ぎ階の三室が元帥の城廓で…毎に色づく岩崎別邸の森…詩書に親しむのが其の日…

山腹を穿つて

筧の水を引き斜面に栽や柑橘を栽ゑ樣といふのが元帥の理想らしい、箱根の峰天城の山は近く窓前に落ちて自然の風景の美を收めてゐるが後の丘陵に妨げられて富岳の靈容を望むことの出來ないのが何より遺憾である、午後の一時から二時半迄の間に二人の神官に依つて莊嚴なる上棟式は行はれた親戚及び昵近の者十數名以外に百四五十名の大工左官石工屋根職などが打集ふて目出たく式は終つた、それから婦人客は小徑を經て招仙閣跡に男子連は兒玉贊勳局總裁田村技師の案内で

淘綾の磯傳ひ

に鴫立澤の靈蹟に出で夕日を負ふて招仙閣跡に歸つて來た黄昏頃には御兆への日本料理が出來て元帥を首位に一同祝の杯を擧げたが極めて質素なものであつた、席上黒田鹿水氏は祝詞に代へて左の一曲をものすれば同席に…

第二滄浪閣　鹿水試作

滄浪の水澄みなば以て我が…滄浪い水濁れば以て我が…男浪…ぎの、磯こゝしへに砂白く、名もちなみある高麗の、山は千歳の松青く、眺めが御の仆の朝、鴫立澤の秋の夕、清きは是でこれ、自然の樂土と知らる、功名遂げし大人は復、心にかゝる事も無く、靜な濟ひて此の里に、庵を結び菊隠る、昔床かしき天長の、給ふ、曾て仕へ一世の偉人（伊藤）公、念の住節なうらないて、滄浪閣と名づけてな此處に架かれて、七棟式を擧け給ひしが、月ゆき花の變りて今や此の庵の、建築いまだならざるに、里の人々逸早やく、第二滄浪閣と呼びなして、大人が勳を先人と並べ稱ふぞ愛たけれ

田圃連なる所

に所謂東海道の並木の裡に隱れ（た）がある此の並木の裡に…が加古川男の別邸と彼の公の築かれた滄浪閣で滄浪閣の猶十年前の姿ち殿すんでるのを見る特に縁故の深い故公の…のである、此の並木…ある一脈の丘陵を負ひ灘の蒼波を望む一地域の相せられた別莊地で…課である時には歩を別莊に運んで指圖するのが…らしく談笑の客として…の兒玉將軍位なものでも…地といふのは停車場から…つて約十町許り西に出て…

◎痘瘡流行

最近支那人の間に天然痘流行し…七月以來…

◎河合博士追悼會

元…野事として…京城分校…弘民氏は去月十二日逝去…がこれが生前の德を偲ば…

◎元山結氷

寒氣頓に加はり七日朝迄ら下せるもの零下五度を示し元山港は悉く結氷す（元山特電）

へ革命のお婆さん＝銃殺されたブレシコフスカヤ夫人

悪性感冒の話（二）

頭痛、戰慄、發熱

―本病の特殊症狀は…

二十三年日本を襲つてから前後三回の大流行についで今度の世界的大蔓延を見た

其後久しく流行の跡を絶つたが一八八九年に又歐洲東部に發生した一八八九年二月ブハラに發生した流行性感冒は漸次露國全體を襲ひ十五萬の患者を出したそれより伯林、ブレスラウ、ライブチッヒ、巴里、ストックホルム、コペンハーゲン、ウイーン、ハンブルグ、シユンヘン、バーセル、チユーリッヒ、ゲンフ、瑞西の各都市にも

◇多數の患者

を出した十二月には倫敦よりアイルランド、スコットランド、ブリユセルに流行し同月末には伊、蘭、ベーメン、イルランド、アラネ、コンスタンチノーブルに及び下旬には紐育に發生南北に蔓延一月初旬に至り埃及カブスタットにも發生したが其感染徑路は英京倫敦との船舶の交通にあるとて却々喧しかつたものだ中旬より下旬にかけて俄然ベルシヤ及び香港に發生三月頃

◇日本印度

南米、濠洲に蔓延猖獗を極めた又ベルシャ、印度、亞弗利加の海岸に發生したものは激烈で肺炎を併發して死亡者多數を出した此世界的感冒は驚くべき傳播力を有しフリードリヒ氏の統計を見ると獨逸では發生箇所九百九十八箇所に及んだとしてある一八八九年露國に起つた本病は明治廿三年日本を襲い廿五年に至る迄前後三回の大流行を見た大正五年日本に起つた感冒は

◇朝鮮にも傳

播した而して今回の世界的大蔓延を見た譯にて流行性感冒も實に如斯歷史を有して居る從つて恐るべき事が想像し得らるゝが序に

本病の症狀

を尠し述べて見ると症狀は流行の異なるが如く病狀も一定しない

從つて往々險病を發生して危險を伴ふ事もある本病の潜伏期は極めて短い或人は感染と發病は同時であると唱へて居るものもあつたが一般には一日乃至三日位であつた前驅症は疲勞、惡寒及び輕度の熱候、頭痛、眩暈、頭痛、嘔吐等を來す事もあるが極めて速かに固有症狀を發し前驅病を看過する事もある固有症狀は多くは惡寒戰慄をして發熱三十八度乃至四十度以上にも上り頭痛、腰痛、肢痛に加へて非常に疲勞を覺ね食欲がなくなり呼吸器系統の加答兒を伴ふのである

◎瓦斯暖爐（ストーブ）爭奪戰？

薪炭が騰るからといふので

◇會社攻めらる

そろ〳〵嚴冬將軍のお見舞を受けた京城では俄かに薪炭の需要が激増したのと品薄とでトン〳〵拍子に騰貴して來たので中には炭に水をブッ掛けて貫々を盜む惡商人も出來た有樣で客の方でも今年は炭が高いものと見越し

◇七輪を瓦斯に代へた

◇者が非常に多く昨年

の三倍にも上つて居る又石油が高いので電燈の需要が素晴しい勢ひで殖ゑて會社の方でも需要に應じ切れず一ケ月前の申込をやつと片付けて行くと云ふ始末で全くお客に濟まないと云つて居るが瓦斯ストーブの申込は又非常なもので既に七八月の旋風機時分から毎日平均六十個の申込があり九月には

◇八百臺のストーブが

◇全部契約濟となつて

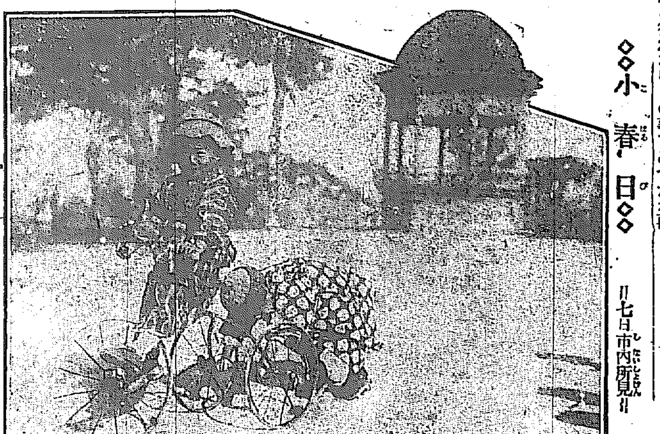
終つた會社では止むなく陳列してある瓦斯ストーブは勿論會社備付けも取外して需要に應じて居るが中込の百分の一にも足りないので殆んど引張凧の有樣であるそこで東京の瓦斯會社へ幾位でもいゝから送つて貰ひ度いと泣き附いて見たが東京でも今年は素晴らしい勢ひで

◇羽が生ねて飛んで行

◇くので京城迄も送る

譯に行かないとの事であつたか再三交渉の結果先方の會社では重役會議を開いてそれで輸數十臺丈け送らうと云つて來たは來たがそれが當地へ著するのは十二月中旬後でなければ著かないらしいそれが著いた時こそはストーブの爭奪戰行はれ兼ねぬと云つて居る右の次第で今年の冬は困る者が餘程多いらしい

◇◇小春日◇◇



＝七日市内所見＝

◎朝鮮全土　道路千里

自動車を通ず

◇大京城建設捗む

施政八周年の今日全鮮に亘り道路の改修及び新設されたる者が實に千三里の長きに達し殆んど到る處自動車の運ばざる處なきに至つた此點は内地に比して寧ろ發展はして居ても劣る事は決してない從つて

◇文明の利器

がドシドシ田舍に入つて地方人を潤して居る事は莫大なものであると共に一般勞働賃金が騰つて僻地でも以前二三十錢が今日では四五十錢を唱へ鐵道沿線では五六十錢を唱へて居る夫でも容易に雇入れる事が出來ないので一般事業家は困り抜いて居る上に近來職工人夫の爭奪が激しい爲め役所の仕事でも一時休まねばならぬ事がある殊に結氷期を目前に控へた京城敦化門黄金町間及び鍾路松峴洞間の市區改正工事も盛んに職工

◇人夫の爭奪

に遭つたので工事の遲延は免れない然し土木局の方では成るべく本年一ぱいに竣成せしめ度い意嚮で工事を急がせて居る之れが竣工の曉は京城市内で十二間道路が一里六丁、十五間道路が十六丁十間が十三丁を三十間、八間が三丁三十間となり支那滿洲は勿論内地でも餘り見ないコンクリート道路も六丁三十間

◇東洋に誇る

べき一大自然公園となるし理想的大都市京城の建設も近き將來にあると云つてよい又現在としても之丈け總てが立派に整頓して居る都市は内地でも一寸見る事が出來ないと八島土木局出張所長は語つた

◎三越屋上庭園

本町三越呉服店は此度屋上露臺四十餘坪に假設備をなし顧客及び一般都人士のために屋上庭園を設け明八日より開園する由なるが京城の中央しかも五十尺の高所より市街の風光を一望にあつむる快は他に得難き所、娯樂場の少き京城に於ては婦女子の清遊場として申分なし但し本年は餘日なきため假設備とし明春完全なる設備をほどこす由因に去る六日より三階の廣間にも子供著の既製品、半襟、帛紗、陶器、金銀器、漆器、玩具の新著品を陳列せり

◎中村都督夫人

關東都督中村雄次郎男の夫人並に令嬢は五日大連發北行奉天その他を巡覽の上十日頃入京の旨或筋へ通知ありたり

◎香爐峯の山火

江原道杆城郡杆城面陳富里の國有山香爐峰は去月廿三日午後五時頃より火を發し折からの烈風に煽られて熾に延燒し百五十町歩を燒き同廿六日午後五時に至りて漸く鎭火せり出火を發見するや杆城面民三百五十餘名は杆城憲兵分遣所詰憲兵同補助員及び郡廳吏員等の指揮の下に出動消火に勤めたるも連日の强風に火勢猛烈を極め加ふるに山岳嶮峻にして行動の不自由と水利の便少く消防頗る困難を極めたり延燒區域の割合に損害額の寡少なるは立木少かりしによる由なるが發火の原因は多分薪炭取りの標草の殘り火ならんと

◎獵銃强盜

江原道淮陽郡淮陽面炭峴里李某方土方職通稱中村事浦部藤三郎（三二）は去月二十七日午後五時頃同道平康郡平康面西邊里より鐵原に通ずる道路に於て獵銃の途中同道金化郡近北面前川里申明文（七三）と行合ひ獵銃を申に差し付けて脅迫し所持金一圓二十錢を强奪し去りたるが同人は二十八日平康警察署の手に逮捕せらる

◎郵便事務員募集

京城郵便局にては郵便事務員多數を募集する由なるが採用試驗は高等小學校卒業程度にして採用の上は月收約三十圓なりと又郵便集配人も募集中なるが月收は卅圓に相當する由にて志願者は至急同局に申出づべしと

◎ヴァイオリン演奏會

市内にてヴァイオリンの教授をなしつゝある金雞會にては來る十日正午より日之出小學校講堂に於て第二回ヴァイオリン演奏會を開催する由なるが會員にヴァイオリン演奏の外石野夫人其他の箏曲、佐藤都合氏の尺八獨奏、ピアニスト清水氏のピアノ獨奏等三十二回に渡る演奏ある筈なりと

◎安達氏遺業

京城南米倉町精米物油（株）故安達熊太郎氏の遺業は親族協議の上未亡人安達ため子をして繼承せしむる事とし七八日より引續き營業を開始する由

雁十郎一座を觀る

―二日目―

雁十郎、片岡我左衛門、片岡長左衛門。壽座開演中の中村…

仁川期米

平南秋蠶狀况

演藝案内

本町五丁目　文樂座　電話二三八　新派劇倶樂部山地一行　▲活劇　白晝の慘劇　全九場　十一月七日より

本町一丁目　壽館　電話一〇五〇　十一月五日午後六時開會（三日限り）　良界の名人東洋軒雷右エ門一行　伊賀之水月『續』東洋軒雷右衛門　五郎正宗傳『續』東洋軒小雷　大岡政談『續』桃中軒雲坊　相馬大作『續』竹川馬生　元祿武士『續』一席　雷右衛門　水府公『續』

櫻井町　大正館　電話八七三　日本活動寫眞株式會社代理店　十一月八日より新寫眞　△印度風俗　◎滑稽漫畫カチ〳〵山　△伊國チチス會社秀作　◎探偵活劇『黒百合』全七卷　◎舊劇『隅田川大仇討』全一卷

◎新派悲劇『二人娘』全三卷

黄金館　電話（晝間）二二六六　（夜間）二六二七　天然色活動寫眞會社京城營山一手代理店　◎愈々十一月七日より　舊劇　安達ヶ原三段目

◎冒險活劇　第二大秘密　全十八卷（四卷上場）

◎新派大悲劇　豪華の裡　四卷

本町三丁目　壽座　電話五七八番　大阪歌舞伎大一座　當る十一月七日午後四時より（二日目）　▲前　魁難波戰記　▲中　吾妻與五郎　▲切　所作事　入場料　一等九十錢　二等六十錢　三等四十錢

有樂館　電話（本局）三一〇五番　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　北米ユニヴアサル一會社特約　▽喜劇『娘の仇』　米國ユ社バタフラ非特作品　◎人情活劇　モンタナの人　◎最終編『灰色の幽靈』第十五篇十六篇　四卷

浪花館　明治町二丁目　長電二六〇番　大阪一流女義太夫竹本長廣大一座　十一月八日初日　御祝儀　信仰記　大功記　伊賀越　忠臣藏　御所櫻　梅川忠兵衛　日吉丸　三十三所　竹本登　竹本入久　竹本市　竹本團昇　竹本長富　竹本梅若　竹本長若　竹本住龍　竹本旭仙　竹本長廣

◎誰でも樂に金儲が出來る

▲美人間の大評判　くせ毛縮毛直し　ぬけ毛を止る　テンダー

發賣　東京銀座　中南定太郎　大阪　中南定太郎　定價一圓・五十錢・三十錢

花柳病　外科專門　梅毒・淋病・泌尿生殖器病・痔疾・皮膚病　606　京城南大門通　司生堂醫院　電話三〇六五番

秋の風引には

解熱完全劑　カゼピリン　KAZEPIRIN　東京　大學病院　模範方劑　製劑　衛生局有效保證　鮮滿無雙の特約店にて販賣す

仁川米豆取引

…六千八百六十三俵なりしが之れに對する收繭額は千二百六十石なりき而して之を前年の狀況に比較すれば…の影響を受け掃立數及び收繭額に於ては突飛の増加を來せしものにして本年の減少せるは寧ろ常軌に復…

大正六年　二三三九　…
大正七年　一六、八五…

の如し（二）前年秋蠶期に於ける掃立激增の爲め桑葉は稍過度に濫採…へたる…の減少せし一因なりこ云ふべし

○連絡船上陸客　六日

午前入港新羅丸一二等客　…四年、村上誠三、谷口伊太郎、…非望太郎、…富田…太郎、…佐藤みよ…一名　岡田習吉、大島十郎、…太郎、坂田…二等（二十九名）酒井定一、瀬尾…

★ふゆごもりのしたく★
西伯利亞の戰線では冬營の準備に忙しく寫眞にある如く山から燃料にする木を伐つて來てる所であります（早川生撮影）

西伯利奇話

○吹雪と猛火にて市街は宛ら焦熱地獄

燒跡から凍た屍體が山なす許り　富豪と賣笑婦を探炭の人足に

イルクック市に於ける過激派の暴狀を聞くに昨年八月頃から東部戰線を引揚げた軍隊が續々イルクック市に乘込み勞働者と結んで、勞農團を組織し、盛んに示威運動を行ひ各所で奪掠を恣まにした其時イルクック市の士官候補生約一千名はカザルマンと共に、士官學校に砦を築き、勞農軍に對抗し下砲火を開いた、戰鬪は數十日間繼續いた

市街戰は絶えず

行はれて砲彈の炸裂の音と小銃の音は、夜となく晝となく聽きて市内到る處から火を發して、晝は黑煙のために暗く、夜は炎々たる火焔のために眼を欺くかと思はる程であつた時は十一月末で、イルクックの空は、連日暗雲に閉されて、吹雪は熄まない

而も零下二十度

酷寒は早くも襲うたため、戰鬪は困難であつたが、兩軍共に奮戰した、死屍は到る處に横たはつて居たが收容されない、破壞された一病院の如きは數十の死體が凍つて山と積み重なつてゐた、斯くて數十回の激烈な市街戰の後士官候補生はチタ、ウエルフネウヂンスク方面から押寄せた赤衞軍と正面の敵とに

挾撃せられ遂に

全滅したが、最後の一戰は非常に華々しく、その巧妙な射撃振りに、アンガラ河の對岸にあつた敵は五百名以上も斃されて、河面を眞紅に染めた士官候補生は其時捕縛されたものは悉く慘殺され、巧に包圍を破つたものは奧地をさして逃げ去つた、イルクックが過激派の占領する處となると其政府は

物資の沒收を宣告

し富豪及び賣笑婦を捕へてチーハンボーの炭坑に送つて採炭に從事せしめた下層民や勞働者は悉く過激派となり婦人までが掠奪をするやうになつた許りか掠奪品を賣らこ稱して金を受け取りたるま金でるみ强奪するなど

言語道斷の振舞

をした、日本人なども此手に乘つて損害を被つたこか、過激派の暴虐が餘り激しいため遂には下層民までが空恐ろしくなり過激派を呪ふやうになつた、本年八月十六日頃西部の方からチエック軍が入市して以來過激派も勢ひの不利なる事を知つてチタ方面に逃走したため約一箇年の間過激派の

魔の手に破壞され

つゝあつたイ市も秩序が恢復した市民はチエックの入市を歡迎し一時は其兵を圍んで歡喜下舞したさうである、市中を一瞥すると殆んご彈痕のない家はない火災のため

煉瓦の外壁のみ

殘つてる建築を到る處で見受ける、イ市の民のみならず、此の慘劇の跡を見たなら共產主義の名の下に國家を破壞し無辜を殺し同胞を鏖戮し、市街を破壞した過激派を呪はずには居られない（イルクックにて早川生）

○滿蒙に於ける鹽干魚の貿易　頗る有望なり

滿洲に於ける鹽干魚の有望なる事は既報の如くなるが近頃貿易業者中鹽鯖の大輸入を企てたるものあり已に奉天に到着したるもの松□洋行九俵車約百五十噸蓬萊號三俵車約五十噸の入荷を見たり以前の除宿營當時に於ては魚類不足の爲め大暴騰を見一時百斤洋十四元金こせば十五圓以上の相場を現出したりしも其當時は極めて品薄なりしを以て敢て問題となすべき程の取引はなかりしが近頃の大輸入に於て初めて實際相場は立ち目下百斤洋十二圓八十錢乃至十三圓四五十錢位を以て卸賣りしつゝあり若し輸送能力充分にして自由に北滿に輸送出來るこせば尙ほ十四圓の相場を持續し而も二三百噸の鹽魚を賣却するは甚だ容易なるも貨車不廻りの爲め北滿輸送は今の所絕對不可能と見ざるを得ず只東山興京通化方面圈裡、掬鹿、大孤山、東豐、山城子、柳河、海龍、朝陽鎭に向け販賣するの外道なき次第なり然りと雖も鮮魚の入荷も釜山方面より送荷捗々しからざるを以て相場は高く且又北方凍魚の移入も今日の輸送狀態を以てしては到底充分なるを得ず一部馬車輸送に依りて移入あるべきも斯くては運賃の嵩む係上相場の高價なるは免かれず右事情を見越し支那有力商人中冬期買こして相當の買溜を企つるものありて賣行き極めて好況裡にあり年々鹽鯖の需用激增するに伴ひ大連田中末雄氏の經營せる田中組、大倉組、三井物產等相當の輸入を爲し支那需用者に供給するを例こせるを以て本年冬季に於ても其輸入難しこは云ひ難きも今日の形勢より察すれば到底昨年の如き安値を見る事なかるべく商捌取量こ雖も昨年に比し二三割方增加せしむるは容易の業たり今日の如く地に於る直接商人こ關係あるものが內地より直輸入をなすに至つては從來の如く只一途に支那間を利用しつゝありし者は必ず打撃を蒙る事免るべからず併し總體より論ずれば今後の取引が始めて試驗なる取引にして之等に依つて擴張されたる販路は決して狹隘され或は縮少さる・氣遣ひなし滿蒙の鹽鯖及び他の鹽干魚貿易は漸次大勢力を以て擴張し行くこと疑ひなし（奉天）

○平壤酒（二）

當永平南道二部□識

◇改良　平安南道に於ける清酒の產額は大正三年度の一千石五り遂よ年後の今日將に七千石を突破するの意氣込あるは實に壯とせざるべからざるも生產額の増加必ずしも酒造の發達を標榜せず生產額の増加は其反面に於て販路の擴張消費力の増加を意味するものと見る可きを以て喜ぶべき現象とは云ひ得べきも今仔細に本道に於ける酒造狀況を觀察すれば單に造石數の増加等により清酒醸造業者が一歩を進めたるに過ぎずして未だ内容の充實を計り□□き點多の改善指導の餘地あるものと謂はざるべからず即ち（一）原料品の選擇に就いて（二）仕込操作方法の改良に就て（三）製造場の整理改善方法に就て（四）生產品の節減方法に就て其他（五）販賣取引方法の革新等に就いて改良の數々を擧げて數ふるに遑あらざるのみならず元來清酒醸造業者は事業夫自體が他の科學工業に比し極めて複雜にして且氣候と密接の關係あり而も企業家の經營方法に依り又從業技術者の實驗等に依り十人十色にして各一長一短あり俄に優劣を斷じ難きものあれども冷靜に傍觀すれば斯業に經驗深き醸造家にして案外向上發展せず否往々大なる失敗を招きて不成功に終る者も亦決して尠少ならざせず蓋し此等醸造家は時勢の推移に顧慮せず、前後の思慮を缺し我心頑強にして自己の經驗以外には眼中何物の存在をも認めざるの致す所と思惟せられざるに非ざるを以て酒造業者たるものは克く思ひを茲に致し常に進取の氣象を養ひ新式の學理を應用して漸次斯業の改良發達を企圖する事に心掛けざるべからず

◇趨勢　清酒醸造業の將來に付いては前途甚だ洋々たるものあり蓋し需要者の嗜好が內地酒より地酒に嗜好を移轉する者の増加するの外年々朝鮮人間の需要增加も亦看過すべからざる事實なるが更に近年國境を越ね南滿洲支那方面への輸出增加を告げ近くは西伯利亞方面に販路擴張の餘地あり聞けば平壤清酒の將來は實に多望と謂はざるべからず然れども茲に醸造家諸君の注意を喚起し考慮を乞はんとするは醸造家相互の共同一致を圖り粗製濫造の弊を改め品位改良の實を擧げ一時を糊塗して平壤酒の眞價を毀損するが如き行爲は斷じてなからしむべきは勿論徒らに價格の釣上げ品價に伴はざる販賣方策に出づるが如きは努めて避けざるべからざること即ち是なり

◇講習　清酒醸造技術の改良に就いても前述の如く極めて改良の急務なることを認めらるゝを以て本道に於ては今回第一回酒造講習會を開催し以て多年經驗ある諸君の參會を請ひ新式の學理を闡明し次第に醸造業技術の改善普及を圖り以て今後も年々開催する筈なり、されど此の講習は期間僅に一週間にして詳細に亘り十分なる說明を加ふるの餘裕なかりしは甚だ遺憾とする所なるも諸君は此機會を利用し聽講せし所を基礎とし更に研究を積み益々家業の隆盛を圖り一層此の講習の効果を大ならしめむことを望む

○慶北の畜產（一）

陸軍一等獸醫　慶尚北道技手　常松泰

慶尚北道畜產の沿革は文獻の徵すべきものなきを以て之を知るに由なしこ雖も其の遠く新羅朝に於て最も殷盛を極めたるは牧場の形跡こ慶州牛の名聲今尙顯著なるを以て之を察するに足る、朝鮮には『牛は人間の先祖なり』こ謂ふ諺あり恰も亞剌亞比人の神は人を造る前に馬を作れりこ謂ふに相似たり而して彼に駿馬を產し吾に良牛を存す亦偶然に非ざるなり然りご雖も時運には變遷あり消長あり種畜の選擇行はれず飼養管理の適當ならざれば品種の劣變も亦免るべからず殊に近來內地に於ける畜牛需要の激增に依り良牛の日に移出するもの甚だ多く或は其の形に北質に漸く下りの壁間昔日の如くならざらんこするに至れり茲に乾坤一轉し日韓併合こなり新政の施行せらるゝや當局は畜牛の改良增殖に力め或は種牛を配布し或は民有畜牛中優良なるものを選びて之を保護種牡牛に指定し補助料を交附して種付を奬勵する等百方指導に盡されたり然れども因襲の久しき人民未だ畜牛改良の要を識らず指導奬勵を解せず求むるに任して良牛を放賣し平然意に介せず畜產の改良發達や殆ご期し得ざるに似たりき是に於て明治四十五年先づ之れが改良機關こして自治的團體を組織することに決したり

○柞蠶の出廻

安東縣に於ける柞蠶の出廻りは毎年約六萬籠こ稱せらるゝも本年の狀況は作柄良好ならず約七步作見當なるを以て本年の出市は約四萬籠內外の見込みなるが昨今出廻りも漸く加はり本月四日までの出市は約四萬籠に達し品質は昨程不良ならず價格は內地相場の不況等にて四五日の交一千粒銀一兩二錢乃至六錢見當なりこ云ふ（安東縣）

○馬の皮の賣行

銀高の爲め一時買控へを餘儀なくされし奉天馬皮も近頃內地の銀相場の步合有利になりたる結果日支人間相當の荷動きを見たるこか手合せありたり相場は上物一枚四圓八十錢中物四圓四十錢下物四圓見當を以て最近一萬枚以上を買込みたる者あるも輸送滯の爲め其儘奉天倉庫に保存し時機の至るを待ちつゝあり尙ほ同氏等の說に依れば將來內地は必ず尻上りの相場を現出すべしこ云ふにあり從來奉天に集散せる馬皮は多く蒙古方面より產出する物のみなれば割合小さく內地の受けも南支或は朝鮮方面の物に比し何分劣る點あるも內地製革材料こして需用激增の爲め相當の賣行きを見つゝある次第なり殊に北滿哈爾賓方面に集散すべき馬皮は凡て奉天物に比し優等品なるを以て支那同業者は北方に手を伸ばしこれが買收に努力せるに致れり又將來奉天に工場を有せる皮革會社が發展せば今命社に於て使用すべき原皮も尠からざれば滿洲に於ける馬皮も暫らく好況を繼續する事なるべし（奉天）

○料理番の遣損で　料理店の一家河豚に中毒す

死者二名其他は昏睡狀態

清津府幸町料理店醉月こご安宅方にて料理番なる京都府生れ中村常次郎（四〇）が虎河豚を內臟ごも料理して鍋に煮込み自身初め同家の仲居鹿兒島縣生れ緒方てい（一八）同帳場平松龜吉外家族同經營ゆき、…二名互に舌鼓を打つて之れを食したるが約二時間を經過して常次郎、てい、ゆき、龜吉の四名は腹部に疼痛を感じ同時に身體痲痺して刻々危險に近づけるより早速醫師を招き應急の手當を施したるにゆき、龜吉の兩名は恢復の見込付きしも常次郎、ていの兩名は依然昏睡狀態にて常次郎は同一時半ていは十時半遂に死去したりご（清津）

西鮮餘談

元平壤憲兵隊長であつた子爵久松定謙君は昨年の今頃平壤より鎭海に轉勤して來たのであるが平壤の雄大なる風景は怎うも忘れられぬこあつて今春退職して再び平壤に來た▲而して高麗諸陵の附近に三百圓の耐式永久的住家を新造して京の本邸には老家扶や舊藩內出身の軍人などを住はせて自分一家は平壤に永住する考へで此の建築は…より此處に移つた▲子爵は仲間入披露の宴を催すこ云つてゐたがこれを機會に近く平壤市民したが▲目下子爵の事業こしては江東郡山地方に於て農事經營をやつてゐるが今後平壤市民こして平壤の發展の爲めに亦一臂の力を盡す考へであるこ云つてゐた

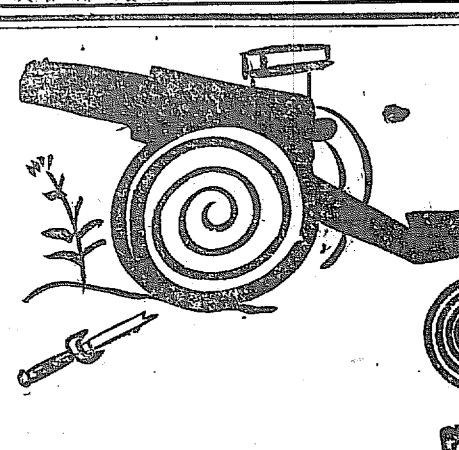
りん病

淋病消渇で困る方切手三錢送れ多年の慢性も自宅で秘密に治す妙藥を無代で進呈
名古屋市南かじや町　武藤亀吉

毛無女の一念

田中醫學博士の實驗

一婦人が吾身の上の恥かしさに思ひを焦して遂に毛生奇藥を發見し望み通り黑い毛が生れ出た樣に喜び田中醫學博士も實驗して空前の結果を確かめられたことは驚くべき事實として東京各新聞紙上に現はれ之れを見て直に實驗した禿頭、生へ際惡く、拔毛、癖の禿、あるべき所に毛の無き人は皆意外の喜びに遇ひつゝある記者が昨今屢々實地に見聞する所なればハガキで東京市築地町美容堂こり子へ宛て問合はさるれば人助けの爲め吾身の秘密を打開封して委しく通知する由



ウツマキ石鹸

製品の向上は

戰後の化學工業界に備ふる唯一の武器です。此意儀に於てウツマキ石鹸は飽くまでも原料を選び暇が上にも實質の完全を期する考へでございます。

東京橫山町
天野磯五郎

學理上　實驗上

一番

齒の爲に良い

クラブ齒磨

一番磨きか　お齒磨は
御家庭用　クラブ齒磨
御旅行用　クラブ煉齒磨
御ひがう用　クラブ水齒磨

クラブ齒磨は日本で初て出來た科學的齒磨で齒と口中の衞生上他に類のない有効原料を用ひ防腐、殺菌、消炎の力に富んで居る貴重な藥品が配合してありますから普通の齒磨に比較すると優に五倍以上の效果がある上に使つた後で久しく爽快の感を殘します近來陸海軍、帝國大學各醫學專門學校を始め醫學者間でも此のクラブ齒磨を理想の齒磨として推奬されて居ります

クラブ本店英人技師
ヒーエルスミス監督

商況

東京株式（電）

東京現株中値

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

兵庫期米特電

下關期米特電

雜報

●三品又低落

綿布三銘も十五圓五十錢安　又々安步調

●正米下押模樣

方下押

●内地麥市況

下關相場

●亞鉛線小弛み　五十錢方低落せり

各地商況

大阪株式

大阪期米

京城正米市場

仲買店

仁川正米

東京期米

生魚市場

今村覺次郎

釜山米市場

仁川期米

七日前場（保合下鹼る）

六圓六十錢と十四錢安

市場雜觀

叺　縄　莚　箕浦商店

仁川米取引所　七日の一月限

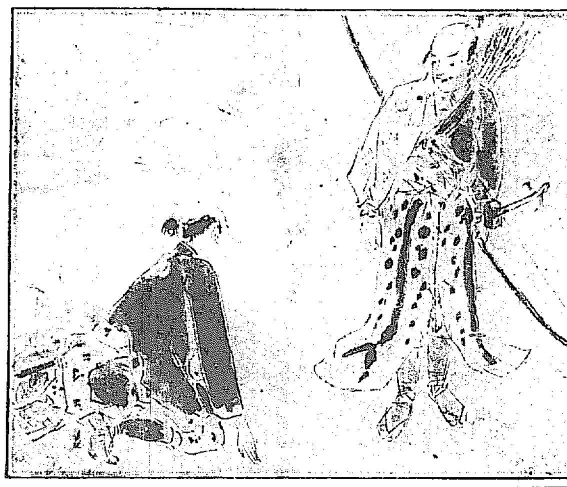
北濱だより

▲砂糖株

一時平和株として買氣の集注したる砂糖株が昨今不味を呈しられるは甘■作の不良より産糖額は昨年よりも減少するといふ事が氣構へられて居るのであるが産糖額の減少は糖價の騰貴に依つて之を補塡する事が出來るから共の營業成績は良好を期し得らるゝであらうし又買過ぎたと云へば共の分量は左ほど多くはないのであるから此上に大なる投げ崩れがあるべしとも思はれぬから平和株として囑望すべき株の安値は買れらる妙味があらうと觀測せられつゝあり

毛谷村六助　五十七席　卅六番角力

桃川桂玉口演　浪上義三郎速記



後藤又兵衛、其次は團右衛門と打覺いでの話　又『イヤお互に嫌だと思つたらその家に居らんでも宜い、時節が來れば又芽を吹くこともある　團『生涯釆配を採ることが出來ないと云はれたのが如何にも殘念ぢや、何うか一度は釆配を振つて見たいと思ふ　又『それも所謂時節到來、時の來るのを待つより外仕方がない、然し御同樣此儘に朽果ようとは思はんからな　團『如何にも　又『ま、それまではお前と一緒に此處に居よう』玆で兩人は相變らず旅人を見ては嚇かして金を取つて居たが　又『天下の豪傑塙團右衛門後藤又兵衛が百姓町人を嚇かして金を取つて居たと云はれては恥辱だ、此の上は大名を嚇かして金を取らうではないか　團『イヤそれが宜い』と相談をして居る處へ來かゝつた大名こそ災難、播州三木で一萬石別所民部少輔といふ方が駕で廿四五人の家來を從へて通行する、是を見て團右衛門飛び出し　團『アイヤ暫らくお待ち下さい　○『何だ　團『拙者は松山浪人塙團右衛門でござる、永々の浪々にて困却いたす、別所侯とお見受け申して金子の無心をいたす、何うぞお手當を願ふ、若しお肯き入れなき時は跡には未だ後藤又兵衛が居りますから此者より御無心をいたす』イヤ驚いた別所の家來共、恐ろしい劫盗が出た塙團右衛門に後藤又兵衛、（別所民部は手許金を差置いて這々の體で逃げて行く、偖又兵衛團右衛門に向ひ　又『時に團衛、こんな事を何時までして居る譯には行かん、餘り賞めた話ではない、俺は未だ東國北國を巡つた事が無い故是より關八州筋を廻らうと思ふ、殘念ながら此處で別れる　團『俺は未だ西國の方へ歩かぬ故行つて見ようと思ふ、縁あらば又會ひませう』と兩人は右と左に別れましたが、團右衛門は後藤に別れて京都より大阪に出で、それより中國路を下つて參りまする、急がぬ旅のこと故彼方へ二日此方へ三日と逗留て恰度藝州廣島の城下手前まで參りました、其頃藝州廣島は福島左衛門大夫正則の居城でございます、團右衛門は城下の入口まで參りますると、百姓町人共が皆大地へ手を付いて平身低頭をして居る、團右衛門も其處へ來て蹲踞つて居ります、如何さま野駈の歸りと見えて福島正則は野駈裝束、十四五人の供を從へて城下の入口へ入つて參りました、處が身分こそ違ひますが正則と團右衛門とは戰場の友、團右衛門は心嬉しく思ひまして『御前々々』正則は此聲を聞いて振り返つて御覽になると思ひがけない團右衛門が居りましたので　正『オー誰かと思へば其方は團右衛門ではないか　團『久々にて御機嫌のよい體を拜し恐悦に存じまする　正『久しう其方に會はんで居つた、何うした其方は、加藤家を浪人いたしたといふではないか、加藤か塙か塙の加藤かと云はれた位であつて、加藤の家には無くてはならぬ其方　團『それには理由がございまして　正『それは何か理由もあらう、何とか正則が折合をつけて遣はす故城内へ同道いたせ　團『有難き仕合せにございまする』玆で正則は團右衛門を伴れ歸城いたしました、段々事柄を聞いて見ると、別に惡い事もないが、互ひに氣の張つた處から云ひつのつて斯ういふことになつたのだ、時機を見て左馬助の方へ話をして遣はす故、當方に遊んで居れと云ふので團右衛門を止めて置きました、食客と云つて別にございません、時折正則の前に出て機嫌を伺ひ戰場の話でもして居ればそれで宜いのでございます、家臣も決して疎略にはいたしません、處が此程正則は碁に凝り始めて毎日近臣を相手にパチ／＼碁を囲んで居ります、何うも大名藝と云つて能くは出來ません、近臣も餘り勝つては惡からうと思ふから故意と負けると正則は怒つて追從な奴だと云つて打つ、さりとて勝てば遠慮の無い奴だと云つて打つ、しまひには頭は瘤だらけになつて、イヤ其の迷惑一方でございません

◎平南の燃料

十一月九日九星

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS.　100 tablets ¥ .60　600 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

人參を科學的に研究して之を錠劑とせる
◎ミツワ人參錠

主効　神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、營養不良、精力減退

定價　百錠入　金六拾錢　五百錠入　金貳圓
内地以外は關税運賃を加ふ

◎ミツワ人參錠適應諸症候

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)
MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.　120 Drops in a bottle ¥ 1.40
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS.　100 Drops in a bottle ¥ 1.40

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-Liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, line and quina.

美味無臭容易に定量の肝油を食用し得る
本邦及英米國政府專賣特許滋養强壯料
◎肝油ドロップス
河合舘太郎氏創製

肝油ドロップス　肝油含量一顆一瓦にして夢糖及可溶性含窒素物を以て成る滋養强壯料也。
複方肝油ドロップス　肝油の半量を蛋白質に換へ更に有機鐵、有機燐及石灰、規那等を含有せしむ。

定價　五十顆入　一圓四十錢　百二十顆入　一圓四十錢　複方百顆入　一圓四十錢
内地以外は關税運賃を加ふ

▲如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし

大阪商船出帆

共同汽船出帆

朝鮮郵船出帆

京城日報

京城日報　南北安協と列邦詰問

[illegible]調に赴き、如何樣に[illegible]南北安協論[illegible]局面を打開せんとの努力が各方面に起りつゝあり。勿論徐總統就職當時に宣明せる如く、歐洲戰亂の終局後に於ける不安と恐怖とは、支那の有識階級を驅りて、之が準備の必要を自覺せしめたるにも因るべきも、北京外交團より加へられたる壓力が、最も大なる原動力となりしや疑ひなし。

二

北京に於ける聯合國使臣が、一致の協議を以て苦き詰問を支那政府に致したることは、既に報ぜられたる所なるも、其內容の如何に就いては、吾人未だ我政府の公表に接せざるも、支那新聞紙の傳ふる所に依れば、總て十二箇條にし即ち左の如し

一、聯合國は支那が團匪事件賠償金支拂延期、關稅剩餘金支用を機として、國內に於ける產業上の資料と、國民の財聚を改善せんことを欲せり。然るに賠償金は徒に黨爭のために濫費せられたり。

二、支那政府は過般軍隊を設置し、兵士を訓練したるも、是等の兵士は皆內亂に使用せられたり。

三、支那政府は聯合國に諮らずして、羅馬法王廳と使節の交換を約したり。

四、匪賊の津浦滬甯(?)鐵道を妨害するに放任し、殊に支那人及び外國人の利益を毀損したり。

五、支那政府は未だ曾て敵國人經營の會社商店閉鎖を嚴重に施行せず。

六、上海天津の支那官憲は同地に於ける敵國人の活動を阻止する能はず。

七、對敵通商取締規則は、一向實施せられ居らず。

八、支那政府は敵國人の商業を停止せしめんとする聯合國の要求に同意せず

九、黑河道尹は聯合國が其の非行を通告する所ありしに拘らず、敵國間諜の活動を許容して、何等の取締を爲さず。

十、支那に於ける敵國人の間諜は、常も支障を受けずして遂行せられつゝあり。

十一、僞造旅券を携帶する敵國間諜逮捕に際して、敵國代表者は其の裁判に參列することを許されざりき。

十二、聯合國は支那が參戰國としての義務を忠實に履行したるものとして認め居らず。

右の內第一は支那の食言不德を責むるものなるが、第二第五乃至第十は、支那が參戰の一員にてありながら、毫も其任務を盡さゞることを事實を擧げて詰責したるものにして、支那として痛く急所を突かれたるものなるが如し。其餘の二三は前者程重要のものにあらずと雖も、支那政府は恐らくは一言の辯解もなかるべし。

三

畢竟支那が參戰の名ありて、其實を擧ぐる能はず、又參戰のために得たる資金を無用に浪費するの失態を演ずるを免れざりしは、例の黨爭內訌に沒頭したるがためにして、實に列國に對して申譯のなき次第なれば、此の嚴重なる詰責は、支那の當局者をして頗る狼狽せしめたるに相違なし。而も列國が今更思ひ出したる如く、此種の通牒を支那政府に致したるは、要は間接的に南北の安協を策せるものにして、徒らに彼を責め[illegible]自ら快しとするものにあらざるや論なし。

四

黨爭內訌を事とするは、支那自國としても不利益の甚だしきはいふまでもなし。されども支那人にして自ら好みて此の不利益を求むる以上は、他國の敢て關すべきにあらず。然れども此黨爭內訌より、列國との信義を破り、又敵國人に對する取締を爲し能はず、列國に損害を與へ、列國の行動作戰に障害を與ふるに至りては、之を寬恕すべき限りにあらず。列國の支那に向つて要求する點は實に[illegible]に存す。而して此詰問に對する支那の辯解は、之を口舌の上に求めずして、事實の上に求めんとするものなり。事態既に此の如きを以て、支那政府として執るべきの途は一方に偏れながらも參戰の實を擧ぐるを努むると共に、他方に於いては國內の爭鬪を止め、以て列國の要求に應ずるに在らざるべからず。

五

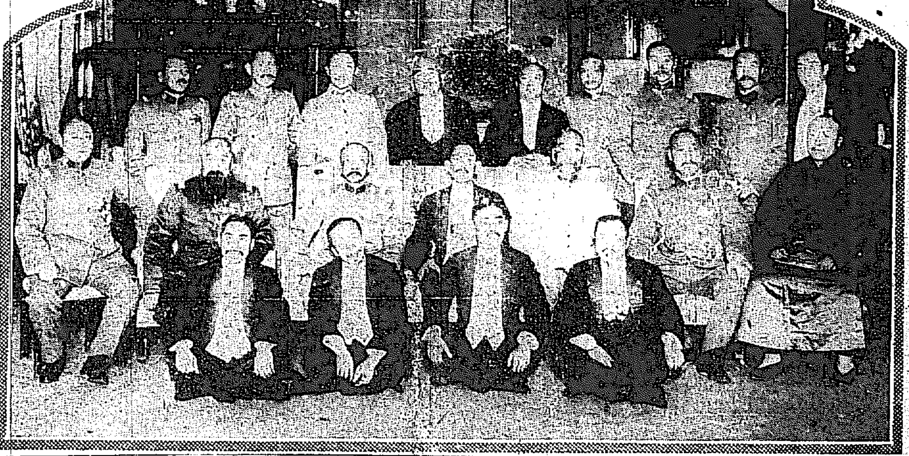
此の如くにして南北安協の氣運は、俄然として促進せられたりと雖も、其眞個に和平の來る、其何時に在るや素より豫測すべからず。又列國としても是れ以上の壓力を加へ、若くば深く立ち入りたる世話を爲し、以つて妥協の成立を期するの考案もなかるべく、現に我が政府に於いても、斷じて支那の內政には關涉せずと聲明しあるを以て、當分此のぐらゐの處にて手を控へ、暫く事の成行を觀望するならんと信ぜらる。要するに支那を救ふものは、支那自身ならざるべからず。支那國民たるもの此際更に一層の努力を費し、列國をして第二第三の詰問を發するの餘儀なきに至らしめざるを要す。第二第三の詰問は決して口舌の爭ひにあらざるなり。

土國降服影響　某軍事通談

土耳其の降服休戰提議を爲したるとは其筋にも確報ありたるが蓋し勃國の屈服に次いで聯合軍がアレッポを占領したるとは確實に死命を制したるものなり此の結果土耳其政府はボスポラス海峽を經て黑海に通ずる聯合國艦隊の自由通航を認め並にダルダネルス海峽の要塞を聯合軍に引渡すこととなり既に十月三十日を以て該休戰條約の調印を見るに至れり是れ聯合側に取りては非常の成功にして開戰以來大正四年三月十八日より英佛聯合艦隊はダルダネルス砲臺攻擊を開始し當時海峽內には敵は五線に亘りて機械水雷を布設し且つ獨逸潛水艇の活動は一層聯合艦隊をして苦戰に陷らしめ此の間英國潛水艇五隻の內三隻は巧に難關を突破し君士坦堡附近に突出して勇敢なる强襲を試み以て偉大の奏功を博したるとありしも大體に於て聯合艦隊の作戰利あらず該戰鬪中英國戰艦マゼック、トライアンク、エレゼステルブの三隻、佛國戰艦ゴローワ、ブーウェーの二隻を擊沈せしめられ以て多大の損害を被りたりき而して一方陸軍は陸上要塞占領の爲めガリポリ半島に於て敵前强行上陸を企圖し攻擊に從事し折柄炎暑の際とて聯合軍は多大の[illegible]に豫期の目的を達せず英國輿論は囂々として作戰の誤れるを攻擊したる程にて止むなく大正五年一月に至り聯合軍は海陸兩面の攻擊を中止しガリポリ上陸軍を撤退してサロニカ方面に之を旋回せしめたり斯して同方面の狀態は今日に至れるが今回の降服結果は右休戰條約に基づき當然是等海峽要塞は聯合軍に於て占領し同時に君士坦丁堡に在る土國軍艦を處分し以て同海峽の掃海を行ひ自由に通航して黑海に出入し得るの途を開くこととなるべし現在君府にある土耳其軍艦にて聯合軍に歸屬すべきは左の如し

[illegible]前戰艦[illegible]▲巡洋戰艦サルタンセリム(舊名ゲーベン)▲輕巡洋艦[illegible]▲驅逐艦六隻▲水雷[illegible]▲砲艦十一隻▲水雷砲艦二隻▲舊式特務艦若干▲更に獨逸潛水艇若干隻

而して黑海には既に獨逸が降服せしめたる露國艦隊勢力を合し現在獨逸の支配下にある所謂黑海艦隊全勢力は弩級戰艦ヴオリヤ(舊名インペラトル、アレキサンドル三世)弩級前戰艦シノープ同ワリキー、ダベドノーセッ同ロスチスラフ(?)同ボーレッツ、ザ、スッアーボ(?)(舊名パンテレイモン)巡洋艦カグル同パーミャチ同メルクリヤ等にして是等は聯合軍に投降するや又は自爆するや疑問なるが今や講和締結せんとするに際し徒らに自爆して聯合國の感情を害ふを恐り或は穩當に白旗を掲げて投降する態度に出づるやも知れず右事態の結果聯合國はダルダネルス海峽、黑海の制海の海上權を掌握するに至るべきを以て其黑海沿岸に於けるウクライナ、羅馬尼等は直ちに聯合國に歸服し以て同方面に於ける軍事外交の總ては擧げて聯合國側に於て有利に解決するを得べきは蓋し當然の歸結なりとす(東京)



[illegible]にして前列向つて右より[illegible]通譯官、高尾書記官、[illegible]中畑通譯官、船津書記官、[illegible]中列向つて右より曲同豐中將、靳雲鵬上將銜、王湖北督軍、芳澤代理公使、張東三省巡閱使、趙河南督軍、徐樹錚上將銜、段[illegible]後列右より[illegible]中將銜、飛行學校長、[illegible]中將、揚志澄中將銜、參戰處員[illegible]官は徐、姚、秦、章、揚、[illegible]の六氏なり

◆芳澤代理公使の督軍招待(徐樹錚一行の送別會を兼ねて)

駐支芳澤代理公使は三日午後八時公使館本館に於て督軍會議出席の爲め來京せる東三省巡閱使張作霖、湖北督軍王占元、河南督軍趙倜の三督軍の歡迎を兼ね今回渡日大演習陪觀の徐樹錚一行に對する送別宴を催せしが近來稀れに見る盛宴にして和氣靄々の間に主客歡を盡して十一時散會せり寫眞は當夜の光景

邂逅　佐々木峰雪

四十二　密談(三)

『ねッ』とお染の目は光つた、

『は…、彌う熱くものぢや無い、そなたは我子は可愛うないのかな』

『そりや誰だつて』

『可愛からう、そこでぢや』と一寸首を捻つて居たが、やがて『彌う〳〵幸ひ、庄吉といふ子は木津の叔父さんの財布を拾つて自分の物にして、警察の手に調べられたんぢやらう、さ、それをやれこれ云ふのぢや、いや庄吉さんは泥棒ぢや、盗人ぢやと云へば庄左衞門さんだつて今は相當の顏ぢや、まさか泥棒と名の冠れた子に繼がせも能きまい、どうしても坊に轉んで來る、それぢやによつて有る事無い事仲山に云ひ囃すぢや』叔母は頻りとお染の頭から油を掛けた、そして私かに火を點けたので、お染は遂に其火に燃やされた。

『ほんに彌ういへば彌うですわね』

お染の額にはもう恐ろしい角が生ねて居た。

『奥樣妾好い事を思ひ附きましたわ、あの子それいつぞや天王寺で……』とお里は手柄顏に口を添へた。

『お、それ〳〵』とお染は膝を打つて、叔母に何事かを云はうとする時、表玄關へ庄吉に伴れられた庄造の顏が顯はれた。

[illegible]坊ちやん[illegible]と可愛らしい庄造の聲に[illegible]り乘ね、腰を浮かして玄關の[illegible]を覗き入つた。

『兄ちやん、兄ちやん』と庄吉に縋ひ附いて

『僕お父ちやんに飛行機買つて貰つたの、あれ兄ちやんと擧げよう』

庄造は慌たゞしく自分の室へ入つて、飛行機の模型の入れた箱を抱へて、又も庄吉と共に表へ出た。

『叔母さん、坊はもうあんなに馴付いて居るんですもの、ほんとうに困るわ』

『[illegible]能う馴れたものぢや、[illegible]こいては坊の爲にならん、坊は可愛い、坊を大事ぢやと思うたら、一日でも早う庄吉といふのを退ける分別を爲にやならん、庄左衞門さんには親子の仲には違ひ無からうが、そなたや妾には赤の他人ぢや、妾も嫌ひぢや、そなたの一人子を森井の相續人にさしたいばつかりに、年取つた身に斯んな罪な事を云ふのぢや、さう思うたら一日も早うやつておくれ一日も早うな』

『はい行りますとも、可愛い只一人の坊の爲ですもの』

お染の胸はもうすつかり變つた今熟々考へて見ると、昨日の朝庄五郎に伴れられて來てからは、庄左衞門は何うも彼も庄吉々々と、今迄庄造に注がれて居た愛の全部が庄吉の頭から浴びせるやうに注がれて居るのを思ひ浮かべると、地になつても庄吉を亡いものにしてやりたいと、自分の子を思ふ心から恐ろしやお染の心は疾うに鬼になつた。

『昨夜だつてさうだ、坊がいつものやうに膝へ抱かれに行くと、さも五月蠅さうに追ひ拂ふやうにして、庄吉とうれしさうに話して居る、あれだけでも坊を可愛がらないやうになつたんだ、捨て置いたら此末どうなるか知れ無い、今の中に叔母さんに智慧を借つて、片を附けて了はねばなるまい』と獨り心に頷いた。

叔母は午後の二時頃充分云ひ含めて歸つて了つた。それと入れ違ひに息子の泰次郎が訪れて來た。四十五六の豐な頰に酒の香が漂つて居る、濃い一文字の眉の下に底光りのする瞳が動いて居た。

『やあ森井君、芽出度い〳〵』何より僕はお芽出度い』

泰次郎は客間に通ると直斯う挨拶した。

『いや有難う』と庄左衞門も簡單に挨拶を返した。

『時にその庄吉とか云ふのは何處に居るんだね』と訊ねた。

『今坊と遊んで居たんですが』と四邊を見廻す時、表の方に

『やーがる〳〵萬歲々々』と庄造の黃ばんだ聲が聞ねた。

悲秋　江原如水

荻花方白露光重。楓葉半黃霜氣濃。天地蕭條多怨恨。江邊踏月聽寒蛩。

與闋日、情景兼到、能感動人

櫻岳藤戸計太著　最新朝鮮地理

總クロース金文字入八百五十頁定價二圓

一本書ノ內容ガ如何ニ豐富ニシテ完備セルカハ之レヲ內外地理ノ大家ナル志賀重昂先生ノ序文ノ一節ニ『君ハ實ニ帝國希觀ノ朝鮮通ニシテ此ノ書ハ實ニ帝國希觀ノ朝鮮地理書ナリトス帝國希觀ノ朝鮮通ニシテ帝國希觀ノ朝鮮地理書ヲ著ス予ガ最新朝鮮地理ノ名ニ眞意義ノ存スト云フモノ』ニ觀レバ又多言ヲ要セザルベシ

一特色―[illegible]

一、各學校ハ勿論、官廳各會社、教育家實業家ニハ缺グベカラザル良參考書ナリ

此際御下命に限り特に送料當方負擔に仕候但し代金引換小包を除く

發行所　合資會社　京城日報社代理部

◎行へば必ず成功する(忽ち十五版)　世界名士立志傳あり

一介の書生から苦學力行世界一の大統領となる

紙屋の小僧から奮勵努力一億圓の大船主となる

一腕を失つて奮戰した將校遂に總理大臣となる

◎生きた立志傳現代の青年は昔の英雄や豪傑の眞似をして駄目だ、宜しく今の英雄即ち名士の言行を模範として立志發奮すべきである、人間は七轉び八起が必要だ一旦志を立てたなら斃れるも奮闘するがよい、辛酸に會つて益々勇氣を加へ艱難に逢つて愈々熱誠を增すやうな快男兒は最後に必ず其目的を貫徹する本書は赫々たる現代世界各方面の名士ウイルソン、[illegible]、ゴルキー、寺內元帥、ケレンスキー、山川大學總長、マツケンゼン元帥、山本權相、ロダン、上原參謀總長、タフト、島村軍司令部長、エヂソン、山下龜三郎、イプセン、後藤男、モルガン、澤柳宗演等其他五十餘名士の奮鬪徑路を敍したる活きたる立志傳、活きたる修養訓なり　本書は定價金一圓廿錢の處今回第十五版發表記念の爲め五百名を限り特價金一圓に割引す、希望者は今日只今送料六錢合せて一圓六錢を振替か爲替で注文あれ、郵券一割增

◆東京神田西小川町二ノ五　振替口座東京三八九九〇　柴田商會出版部

マホービン各種　京城熊平支店

紋附地

黑羽二重　價格　百三十匁付　金參拾圓位

金砂縮緬　金四拾圓位

色縮緬　金貳拾五圓位

▲格安品多數持合セ居リ候間此際御用命被下候ヘバ高直知ラズニ御座候

龍山元町　こまや　植西呉服店　電話四二八番

銘酒

金釜　銀釜　菊正宗　楠正宗

特約店　三巴京城支店　電話[illegible]

モーター(半馬力以上三百馬力迄)

發電機　變壓器　配電盤　諸材料　在庫豐富

株式會社奧村電機商會總代理店

大阪市南區末吉橋通二丁目

株式會社安部幸兵衛商店大阪支店

機械部　電氣部　機械工作所

一製品課目

陸船用汽機、各種喞筒、鑛山用肥料用諸機械、電氣捲揚機一般工作機械、傳導裝置一式

電話長船場 一〇　二〇　三〇　四〇

味の素

美味と滋養　最新調味料

美味しさ一番!　滋養は豐富!　使用法輕便!　之だからやめられぬ

■味の素は小麥より精製せる純白無臭の粉末で獨特の美味と豐富の滋養分あり容易に湯又は水に溶解け使用法極めて簡便也

◇墺休戰正文

―米國々務省發表―

墺國休戰條約正文國務省より發表さる(華府頓電報)

一、墺匈國は陸、海、空中にて即時敵對行爲を停止し軍隊全部の復員を行ひ北海より瑞西に亘る戰線に活動する一切の墺匈國軍隊を全部撤退す

二、聯合軍は墺國領土内の一切の道路、軌道、水路を自由に使用する權利を得必要なる戰略地點を占領す可し

三、千九百十年より同十八年に建造されたる潛水艇は墺匈國艦隊の大部分こ共に聯合軍に引渡すを要し軍艦の隻數、艦種は聯合軍にて指定す

四、墺匈國は聯合軍の捕虜及び抑留中の聯合國市民を即刻歸國せしめ獨逸軍艦は十五日以内に墺匈國領海より退去せしむ可し

◇米國務卿 對獨公文發表

―瑞西公使に宛たる―

米國々務卿は左の趣意の公文書を發表せり(華盛頓電報)

本官は千九百十八年十月二十三日の通告にて獨逸に對し聯合國が休戰を承認するや否やを聯合國に照會を發したる旨を通告せり然るに今やウイルソン氏は此交渉に對する聯合政府の觀察に就て一覽を受領せしもの、如し聯合國はウイルソン氏提唱の講和の主義を基礎として講和せん事を歡迎す、されご海洋自由問題は講和會議の際迄保留す次に被占領地は直ちに撤退釋放し舊形に復せられざる可らず即ち獨逸は陸上、海上並に空中よりせる其侵襲によりて聯合國の市民の生命財産に加へたる損害全部に對し充分の賠償を爲すものとす尚フォッシュ元帥は獨逸代表者を接見し休戰停止を爲す權限を聯合國より與へられ居る事を獨逸に通告せん事を懇請す

◇獨宰相講和意見

ランシング

瑞西公使ハンス、スルツエル閣下

獨逸宰相は最近の演說にて軍事的危機を告白せるも戰敗國こして講和條件を容るゝに非ず聯合國こ對等の地位に立ち互譲的講和を爲さんこ言ひ、アルサス、ローレンは衆民の選出代表者が獨逸國政に參與せしむ可し二州制問題に就いては獨逸宰相は絕對反對を表しつゝあり佛國の輿論は此點に關し聯合國こ獨逸この間に大なる意見の扞格あるを認めつゝあり(巴里電報)

◇獨逸保守黨の覺書

獨逸議會に於ける保守黨議員は宰相に對し獨逸は他迄敵に對抗するの力あり斷然敵の降服的勸告を卻く可しこの意見を開陳せる覺書を送れりこ(海牙電報)

◇獨帝退位協定

巴里來電=二日開會の獨逸軍事內閣會議は獨帝退位を承認協定せり又群衆は宮殿を圍み獨帝の退位を要求せり(東京至急電報)

◇墺國民議會宣言

墺太利共和國將に出現せんこす國民議會は宣言して、曰く國民政府は市の公會堂に參集し全國の行政機關を掌握したり且つ君主を戴かず立法權は國民議會こ參議會この手中に委ぬるこ云ふ憲法の草案を採用したりこ(海牙電報)

◇チエツク ズロヴアツク 獨立承認

獨逸政府はチエツク、スロヴアツク國の獨立を承認せり尙同政府はチエツク、スロヴアツク國大使を直に伯林に置く事を聲明せり(ブラーゲ電報)

◇墺捕虜二十五萬

羅馬よりの公報に據れば墺國最後の敗北の結果トレンチのみにて伊大利軍の手に獲たる捕虜の數は二十五萬人鹵獲物中には馬匹二十五萬頭ありこ(桑港電報)

◎借欵善後決定

前內閣時代の對支借欵始末に就て……[illegible]

◇張作霖和議反對

張作霖氏は南北和議に反對の旨を聲明せり(北京電報)

◇明年滿鐵豫算

大正八年度滿鐵豫算は約三千五百萬圓にして七年度こ大差無し(大連特電)

◇辭令

七日附左の通り任命ありたり(東京至急電報)

從三位勳二等 元田肇

臨時外交調查委員被仰付

特に親任官の禮遇を給ふ

◇大邱記者歡迎會

七日全鮮記者懇親會を大邱に開催す來會せし各社代表者二十餘名次いで午前十時より朝鮮民報樓上に歡迎會を開き太田民報主筆の歡迎辭に次いで鈴木會長中野協贊會長より午餐の饗應あり午後共進會場を視察す(大邱特電)

◇關理事長著連期

三井理事長は八日著連の筈(大連特電)

◎官鹽生產狀況

總督府の調查に依る本年度官鹽生產狀況を聞くに本年度より同十月二十六日に至る高廣梁鹽田七千二百千三百斤朱安鹽田八百千一百斤合計八千一百九十三斤同七年度一町步當り生產高廣梁灣七萬四千二百九十二斤朱安鹽田七萬四千九百五十斤平均七萬四千三百五十四斤同六年度同期一町步當り生產高廣梁灣九萬四千百六十八斤朱安鹽田九萬一千八百三十三斤平均八萬四千八百九十六斤同六年度一町步當り生產高廣梁灣鹽田八萬五千一百五十二斤朱安鹽田九萬二千四百斤平均八萬五千八百四十斤なりこ

九千六百斤合計八千七百六十一萬一千五百四十斤同五年同廣梁灣鹽田六千七百三十一萬一千三百八十斤朱安鹽田二百九十三萬五千九百九十三斤合計七千二十四萬七千三百七十三斤同七年度一町步當り生

◎徐上將軍通過

吾が陸軍特別大演習觀戰のため支那より特派されし上將軍徐樹錚氏の一行は七日午後八時四十分延著列車にて南大門著同九時發列車にて直路東上したり尙ほ一行の重なるは左の如し

陸軍上將 徐樹錚

陸軍中將 童煥文

同中將銜 楊志澄

同少將 秦國鏞

同少將銜 姚受度

同中校 尹鳳鳴

同 千國輪

同 閻祖培

同少校 曾松秀

推運局長 王宗鑑

參事 王陸秦

合計十三名なり因に龍山驛にては山本軍高級參謀千輪副官南大門驛にては領事館員その他の送迎ありたるが一行は大演習觀戰後各方面を視察し十二月上旬までに歸國の豫定なりこ

徐樹錚將軍(大演習陪觀の爲め渡日の途七日午後七時二十一分南大門驛を通過せる)

◇獨皇帝退位問題

國內の暗流―各新聞紙の觀測

某所著電=五日ベルン發報道に曰く獨逸昨今の形勢を察るに最近迄主こして獨逸社會黨中の一部極端派の主張に過ぎざりし觀ある皇帝退位の要求は今や追々國內一般に波及しつゝあるもの、如く十月卅一日。

△普魯西上院 に於て皇室並にホーヘンツオルレン皇室に對する忠誠の決議を爲したるが如きは寧ろ裏面の暗流那邊に存するかを表示したる趣きありフオルウエルツ紙は皇帝は未だ退位を爲さずやこの疑問は今や各新聞編輯局並に一般消息通の間に上り居れる疑問なりこ喝破し且國政改革にして適當の機會に行はれたらんには何人こ雖も現下獨逸の遭遇しつゝある難に對し皇帝をして其責に任ぜしめんこ欲する者無かりしならんも今や時期既に遲れたり由來皇帝は一般人民の感情を毫も理解する所なく人民に向かつて偏に自己及び帝政に對して宗教的信念を要求す

る事こせり而も斯くして遂に獨逸國民の間に帝政尊崇の感情を確立するを得ざりき職戰爭が皇帝の希望に出でたるものに非ざることは疑ひ無きも然しながら皇帝は是を豫防することも能はざりき開戰以來軍事上には

△一切の干渉 を慎みたるも政治上に關しては是こ同樣ハ默を守る能はず屢々不祥なる言論を爲したり今日一般人民の間に皇帝は果して何時其進退を決せんこするやこの疑問あるは疑ふに足らずこ論述し又ベルリーナル、タ−ゲブラット紙は普魯西上院が獨逸國民の名に於て言論するを非難したることは現政府對新聞の態度こして最も注目に値するものあり尙ほバイエル公に接近の機會ありこ聞ねたるフランクフルテン、ツアイツング伯林通信員は未だ何等決定に至らざるも軍事內閣は屢々皇帝の退位問題を審議したりこ報道し且つ皇帝の退位問

題は感情又は傳說を基礎として商議するものに非ず要は目下重大の時機に際して皇帝は國民並に帝國の利益の爲め任意の決定に依つて其の位を退く事が依然其位に留まるに比し一層獨逸帝國並に國民安寧の爲めに有益に非ざるかこの問題に在り多數の政治家は右見地より本問題を講究しつゝあり

△軍事內閣も 亦然りこ說き更に帝國憲法に曹魯西王で獨逸皇帝たるべしこあるを以て現帝は兩者共に退位するを要し皇太子の退位も亦同樣なり從つて未成年者君主即位の場合には攝政を置くの要あるを以て若攝政は事實上獨逸皇帝こなるべきものなるや否やは法律上の研究に上り居る問題なりこ說き(十一月一日同紙第二版)居れるを見れば皇帝の退位の問題は現に內々問題こなり居ることは疑ひ無しこ觀測せらる尙ほ同紙通信員はシヤイデマンが過日帝國宰相に對し現皇帝は退位の必要ありこせる覺書を提出せることは官邊の否認に拘はらず全く事實なりこ斷言し居れり(東京特電)

◎電報發着の關係

朝鮮主要地こ日滿主要地

矢野遞信事務官談

朝鮮全道こ內地各府縣この間に於ける電報發著の狀況を見るに交通經濟その他の關係を知るに利便多きが左に朝鮮各地こ電報發著最も多き各主要府縣を示せば左の如し

▲朝鮮こ內地の各府縣

各府縣	最近一日平均數	前回調查回數	增加數
大阪府	一、三二九	一、〇九〇	二三九
東京府	六四三	五二二	一二一
山口縣	六三八	四六三	一七五
福岡縣	三五一	二五八	九三
兵庫縣	三二二	二二一	一〇一
長崎縣	二八八	一八一	一〇七
廣島縣	一八九	一五八	三一

乃ち大阪は第一位にあり朝鮮こ商取引の關係最も頻繁なるを知るべく第二位の東京は行政の中心地たる事並にその他關係上

▲發著通數 尠からず又山口縣の多きは下關こ釜山その他の土地この間に於ける商關係並に同縣人の在鮮者少からざるに坐すべき乎又福岡の第四位は門司港のあるあり並に同縣人の多きため乃ち山口縣こ同一理由によるべく兵庫は神戶を控へ居れるため長崎は長崎市、廣島は廣島市あり又兩縣人の在者も比較的多ければならん近に右の順位が最近の調查も前回の調查も同樣なるより見れば此の關係は容易に動かざるものこも見るを得べし以上は

▲朝鮮全道 こ內地各府縣この關係なるが若し之れを京城こ內地各府縣この關係こせば如何になるべきかこ云ふに流石に京城こ東京より各々朝鮮こ日本の政治的

大阪の次位にあるは商關係にして大連、安東、長春、奉天この間に於ける著數の多きを見るべし次に釜山こ內地並に滿洲間の電報關係を見れば

▲釜山こ主要地(一日の發著數)

大阪	一八四	安東縣	三九
下關	一四五	門司	三三
神戶	八三	福岡	三一
東京	四九		

右の如く釜山が純然たる商業地たる如く大阪、下關、神戶の三地間に電報通數の少からざるを知り得べし更に仁川こ主要地並に平壤こ主要地關係を見れば

▲仁川こ主要地(一日の發著數)

大阪	八〇	神戶	二六
大連	七四	下關	二三
東京	三七		

▲平壤こ主要地(一日の發著數)

大阪	二三	安東	二〇
東京	一六		

要するに將來朝鮮內部各地の財界發展して商取引きの發展するに伴ひその大阪この電報發著通數は益々多きを加ふべく又行政上の關係に於て東京この電報發著は益々加せんこする傾向あり次に滿洲主要地こ朝鮮主要地この關係の增通を加ふるに伴ない一層增加し來るべしこ思惟す

◎手當旅費規程

地方土地調查委員會委員手當及び旅費支給規程臨時土地調查局事務員及び技術員養成所規程並に同養成所生徒手當給與規程廢止の件は五日附官報號外を以て發布

◎租稅徵收成績

朝鮮總督府に於ける徵稅種目中に新に朝鮮銀行券發行稅及び臨時部こして戰時利得稅を加へたるが本年九月末日現在大正七年度租稅收入徵收狀況を聞くに左の如し

[illegible]

◎京畿林野調查

京畿道にては安城、龍仁、利川三郡管內林野調查施行を爲すべく入澤京畿道第一部長は該調查處理に關し不日以上各郡守宛に通牒を發すべし

◎府稅二期告知書

京城府稅務係りにては大正七年度第二期府稅告知書一萬六千九百七十二通を本月五日附を以て夫々納稅者へ向け發送したるが此の稅金額七萬七千九百二十九圓十一錢を領せり指定納付期限は本月末日にして若し納稅義務者にして告知書不屆きのものは之れが再發を請求する方便宜なるべしこ

◎市街地稅督促

京城府稅務係りにては第二期市街地稅未納者に對し來る十日附を以て督促……[illegible]

◎報信號所設置

……[illegible]

◎北鮮商銀開業期

鏡城商業株式會社……[illegible]

◎農學校開校式

京城公立農業學校にては……[illegible]

□大連より

[illegible]

◎……鳥瞰錄……◎

[illegible]

人事消息

▲篠田治策氏(平南第一部長)京不知火へ

▲本岡卯之吉氏(元山商業會頭)同上

▲淺野梅吉氏(大阪貿易商)

▲鹽谷……氏(大倉組店員)

▲宮川傳作氏(鎮南浦商業會……)同上南尾へ

▲三木榮氏(不二興業……)

▲須藤素氏(江原道第一部長)

▲松本直吉氏(新義州……)

[illegible]

商業登記公告

[illegible]

最新刊 京城地方法院

商法釋義 手形法釋義

和英大辭典

大阪屋號書店 京城本町

寫眞 京日寫眞製版部

問題の大寫眞 東都百萬の士女を熱狂せる 新派悲劇 一人娘(全三卷) 山本嘉一衣笠貞之助一派

(現代娘節用) 艶麗無比の大傑作にして金色夜叉以上の大悲劇 舊劇 三人吉三 尾上松之助中村扇太郎合同一座 八日より提供 大仇討 大正館

京日案內

牛乳配達人至急入用 京城蓬萊町四丁目 電話五二三番 東亞牧場

外勤 內勤 店員入用 採用 松菊屋呉服店

女中入用 京城南山町 松園

上女中至急入用 笑福旅館

有給外務員招聘

內勤事務員採用

醫師に被雇たし

代診看護婦採用 齋藤病院

鍼灸術

職人募集 若宮染工場

毛皮なめし並仕立

社員採用

父熊太郎儀葬儀の節は御多用中遠路態々御會葬被下難有御禮申上候

大正七年十一月七日

男 安達康治

親戚友人 一同

[illegible]

下關期米 仁川期米 仁川米豆取引

[illegible]

◎硝子を破って殺到

基督青年會の慰問列車チタ著

砂糖氣のあるものはもう一箇月以上食ない!!!

日本基督教青年會同盟軍隊慰問部は廿九日齊多著幹事增田健三氏及び大阪基督教青年會名譽主事ジ、グリーソン兩氏は第三師團司令部訪問の上齊多驛構內に駐車せる慰問列車で砂糖菓子等を實費販賣をした、慰問列車は二臺から成り一臺は倉庫として

廉賣品を……一杯積み込み

一臺は販賣所ご貨車倶樂部に充ててあるが、出征兵士を慰める爲めに、大釜に湯を沸かして日本の番茶を呑ませるやうにしてあり、蓄音機や、寄せ木細工、將棋盤、眼鏡、雜誌類など他愛なく遊ばせる設備がしてある、グリーソン氏は流暢な日本語で語る『私共は九月二十八日に浦鹽を出發してハバロフスクから黑龍江線を經てチタに來た、途中守備兵の居る驛には大小となく停車したが、何處でも物資の缺乏に惱んで居た折柄とて、慰問列車が著くと先を爭つて殺到し、硝子窓を破つたことも屢あつた、聞けば

砂糖氣のある物

はもう一箇月以上も食ない、手紙ももう紙がないので出されなかつたと言[illegible]

賣品は砂糖四斤一圓二十錢、キヤラメル十二錢、マッチ一箱十錢、ビスケット半斤二十錢、福神漬三十錢と言ふ廉價であるから沿線到る處で、宜くも斯麼に安く賣るものだと感謝の言葉を聞いた、私達は約一箇月の間殆ど不眠不休の狀態であつた』

□行幸仰出さる

天皇陛下には十三日御發輦栃木縣下へ行幸仰出されたり（東京特電）

◇大根洗ひ◇——七日東大門外にて——

▽米國は二千萬圓

＝の慰問資金

我々は何となく米國の手先のやうな氣がする

羨ましい活動振

更に增田幹事曰く『大阪の青年會は目下三方面に別れて活動してゐるが資金が僅に一二萬圓に過ぎないから思ふ存分活動が可能ない、此の

◆慰問列車 もビスケット百四十箱、ゴールドヘルメット十萬個、キヤラメル四噸、砂糖三噸位しか積んで居ないので、チタ以西の軍隊を慰問する事が出來ないのは遺憾だ、米國の基督青年の活動は華々しいもので、西伯利には二千萬圓からの巨資を携へて來た、活動寫眞機は二十一臺もわつて、浦鹽やハバロフスクで出征兵士の爲めに開演してゐる、此の品の如きも浦鹽から分與を受けて來た始末だから日本の基督青年會の活動は然[illegible]手先に使はれてるやうな氣がする、目下日本內地で二[illegible]萬圓の募集に著手してゐるが米國の活動振りを見ると情ないやう[illegible]慰問列車では出來得べく沿線の露國民にも供給して[illegible]が今の處では奈何ともし難い[illegible]驛の從業員だけに頒る事にする[illegible]肝腎の

◆日本兵に 潤澤に供給する事が可能ないので中[illegible]針を替へて驛長の手を經[illegible]にして賣つてゐる』（チタ早川生）

◎藁で織物

藁の心を薄い紙にし強く撚つて織る

農家の副業

諸物價が暴騰して生活上の大脅迫を受ける樣になつた結果我國の各階級を通じ副業が非常に盛んになつた[illegible]農商務省副業課員は[illegible]米作の副産物たる[illegible]工から得る收益が[illegible]僅一千餘萬であつた[illegible]少くとも全國に亘つて[illegible]上に上るに至つた之は[illegible]需要の激增した關[illegible]中農以下の家庭が如何[illegible]脅迫を受けて居るか[illegible]縣が一番で同縣の[illegible]きは朝鮮に輸出する[illegible]が約七十萬圓に達し青[illegible]郡なども北海道へ六[illegible]の移出があり石川縣鹿[illegible]萬圓新潟縣佐渡郡も三[illegible]

◈東京へ 出る叺だけでも[illegible]三十萬圓以上に達する[illegible]先日巖手縣紫波郡飯岡村の人が來ての談に同地方では一家の從業者が四五人もあれば一箇月三百圓位は雪靴や叺を作ると云つてゐた夫許りではなく

◈副業の 盛んな所として有名な香川縣や兵庫縣の一部では在來の叺や筵、繩、草履などを作るばかりで無く、此の藁を利用して織物を製する事を發見した、之れは藁の心を極めて薄い紙にし之れを強く撚つて織るので目下

◈帽子や 手袋並に草履の裏に使用する樣になつたが研究を積めば衣類も出來るらしいそれから東京地方で廢物として打捨てゝ居た屋根葺用の萱の先を種々に染色して衝い立てや屛風を作ることも始めて美しく

◈輸出物 として大に發展の見込がある、目下新潟縣邊では此萱の心を子供に拔かせて居るが子供でも之を拔くと一日に三十錢から五十錢を得る、拔き集めた此心を婦人が編んで居るが來年度には同縣では五十萬圓の收益を見越いさかんで居るそして穗先の綿の樣な處は之れを枕などに入れ甚だ高價に賣る』

◎御名代宮歡迎會

倫敦市民の歡迎を受け給ふ

一日倫敦市長主催の御名代宮殿下歡迎會はギルドホールに[illegible]マンション、ハウスに[illegible]市民の大歡興を惹起せり[illegible]せられたり（倫敦特電）

▽大連の短銃强盜事件（一）△

嬉遊物語

朝に一[illegible]ら投げ込まれた新聞を開く[illegible]啜みながら雜談に夜を更か[illegible]鮮な智識と色彩に豐な話材[illegible]秋は讀書の候と云ひ或は瞑想の候と云ふ。[illegible]ない。物語りの事實が古くも[illegible]りに朴懸しい時は[illegible]居たならば、秋の夜長を[illegible]に富み波瀾に富んで[illegible]度々ある。今讀者の前に擴遊の話[illegible]東京に大連に京城に刑事[illegible]ふのは、約卅年間を[illegible]て凶殺の商殺し事件に[illegible]現に本町署に在勤し[illegible]犯人を擧げた佐々木刑[illegible]阪に向ひ首尾よく[illegible]が綯い交ぜられた幾つか[illegible]る。苦心成功失敗[illegible]た佐々村刑事は、先づ一[illegible]切炬燵に手を翳し[illegible]りの緒を切つた。

◈美人の寫眞が現場に落ちて居た!!!

掛値なしの美人だよ惚れたんだから

家族二名は虐殺され……

『さうさな、過去二十有餘年の刑事生活の中には、隨分面白い話があつたつけ。先づ大連の短銃强盜事件から話を開けやうか。話の筋には女、殊に美人が入ると色がつく、そこで此の事件にも美人が出るから色彩は豐だ、ナニ？いや掛値なしの美人だよ實際已が惚れたんだから！アッハッハ、眞實惚れたか、嘘に惚れたか後で判るよ、それは恰度明治四十年三月二十三日の晩の出來事だつた。うむ、そろ〳〵櫻が蕾を破らうと云ふ時節なんだ、支那人豪商許芳廷の宅で續けざまに短銃の音が響いて、深夜の街を驚かした、午前三時頃右の急報は大連警察署に傳へられた。

素破こそだと署に居合せた自分は

身仕度を整へると同時に兇行現場に驅けつけたところが篤くではないか、表戸は打破られ、家族二名は慘殺せられ、家財散亂せる中に、五百餘圓の金は强奪されて居た。一應臉視を濟ませて、さて犯人の手懸りになる證據品はないかと現場を檢べたところ落ち散つて居た一枚の寫眞を發見した。其の寫眞の主は

妙齡の一婦人

手懸りは之だと

心に叫んだが、さて此の女が被害者と關係があるか、或は加害者と關係があるのか、一向見當がつかない。被害者の情婦か、妻か、但しは緣故ある女か、心當りの者に聞いても一向知らぬと云ふ。それでは加害者が持つて居たのかと考へて見ても强盜殺人を働くのに何の爲め女の寫眞なんか懷中して居たのであらう？加害者は日本人か支那人か、或は又他國人であるか、サア判らない。然しながら此寫眞の女が加害者か被害者かのどちらかに關係のあることが判明すれば事件の端緒は得られる筈である。被害者の家族や出入りの者にいくら訊ねて見ても知らないと云ふので、此寫眞は加害者が遺失したものに相違ないと見當を付けたが、サテ此の女が何處の誰かと云ふことを突き止めるのが問題だ！』

◎平北の感冒

死亡九十六名

平安北道管內に於ける流行性感冒蔓延の狀況は今日迄に患者總數一萬九千六百九十三名に達し內死亡者九十六名を出せりといふが今地方別に示せば左の如し▲義州憲兵分隊管內患者三百五十五名內死亡者一名▲新義州警察署管內患者六千五百名內死亡者五十名▲龍岩浦警察署管內患者八百六十名內死亡者六名▲鐵山警察署管內患者七千百五十六名內死亡者四名▲定州憲兵分隊管內患者二千五百二十四名內死亡者十二名▲熙川警察署管內患者二千八十五名內死亡者二十名▲熙川憲兵分隊管內患者五百八十八名內死亡者三名に及ぶと

◎食物中毒

老若百餘名

平安北道寧邊郡南松面沙川洞崔姓一族が十月十三日祭儀執行先の墓前に於て祭を行ひたる際に集合せる男女老若百餘名墓前の供物を飲食して全部中毒に罹りたる椿事ありたり罹病者の容體は始め腹痛、下痢及び腰部に痛みを發し中には吐瀉、何れも一時人事不省に陷りたりと

◎滿洲線增發

和洋食堂連結

滿鐵滿洲線は大正八年四月頃より客車を增發すると同時に一般乘客に和洋食を供給する食堂列車を連結運轉の筈なり（大連特電）

◎持主は誰か？

停車場に自轉車

話はつひ此の間のことだが龍山停車場三等待合室前に一臺の自轉車が放置されて誰も取りにも來手がない龍山の停車場では仕方が無いから目下保管中であるが之れと同時に龍山ステーションでは直ちに自轉車の

◇◇鑑札番號 一千四百十三號を京城府に通知し所有者取調べ方を依賴し來つた夫で京城府では此の鑑札番號に依つて其所有者を取調べて見た此の番號は新舊二葉の鑑札があつて舊鑑札は已に櫻井町中井瀧右衛門より紛失屆が出て居る新鑑札には番號の外大正六年度改正と刻してあつて其の

◇◇所有者は 黃金町四丁目清水德太郎の名義になつて居るとの事である心當りの者は龍山停車場に就いて貰ひ受くべきである總て停車場のみならず官衙銀行會社其他で自轉車を收得せる場合は直ちに鑑札番號を府廳に屆出あれば府は喜んで其取調を爲すと云ふ事である

◎公州の感冒

忠清南道公州署管內に於ける流行性感冒は其後各面に蔓延し今日迄に判明せる患者數一千八百名に達し內十名の死亡者を出したり

◇◇京城音樂界◇◇

—3—

オーガン

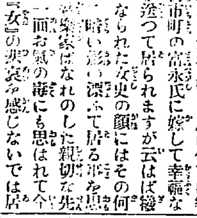
ピアノの名手ですが京城に他にないので……

竹村虎子女史

菊花薫る十一月三日滿都の美しい人達をしてさしもに廣い講堂に溢れさせた京城高等女學校の音樂會主宰者である同校教諭竹村虎子女史は內氣で小心な樣子な女らしい方で音樂家かぶれのして居ない方で[illegible]樂學校の師範科に在學中から研究に餘念[illegible]ないこの評判の高かつた方で御座います女史は口をつぐんで『私などご家庭に居るのご異ひまして斯うして勤めの身で御座いますから……』を口實に何事も語つて下さいません、學校では主として

ピアノを遊ばしたので同期生中

出色の名手ですが他に適當な人が無い京城では唯一人のオーガニストで御座いますピアノは音樂會の當日廿數番の伴奏をお一人でなす



◇竹村虎子女史◇

カンツオネツトは女史の十八番

の曲で以前の任地で[illegible]つてクロリスしていらすその御様子に見ても技倆の程が伺はれますまたオーガンは當日ギルマンのカンツオネツトの大曲をあれだけに彈きこなせた事に見てもいかに立派なお腕前で有るかを知る事が出來ます最も丁未音樂會のプログラムにも女史のこの曲が見ねて居た事を私は記憶して居りますお優しくつて親切な先生として生徒の氣受けも非常によく女史が京城に御赴任になつたに付いては美しい物語りがあります夫れは女史のお妹様も同じ師範科の御卒業で京城高等女學校にお勤めで御座いましたがまだ義務年限に達せないうちにお結婚なさる事になつて退職なさらなければならなくなりました、しかしまだ義務年限に達して居ないので

務任について非常にお苦みなす

つたさうですその時妹思ひの女史は愛慕する數百の乙女の追ひすがる袖を振りきつて住みなれた三原女子師範學校をお辭しになつてお妹さんの後を次いで京城へ來られましたお妹さんは今では樂く吉市町の富永氏に嫁して幸福な日を送つて居られますが云はば犧牲にはその何[illegible]を思はれて今[illegible]居る[illegible]た親切な先[illegible]ないでは居られません。

◎三原氏母堂 李王職庶務課主任三原英彥氏の母堂ナミ子は病氣中の處七日同時死去せり

女事務員募集

高等女學校卒業又は同等以上の學力を有するもの若干名を募集す希望の方は履歷書持參午前九時迄に本社受付に御光來被下度候

大正七年十一月

京城日報社

ひと子（十六）

北島春石作　森田久畫

ピヤホール（四）

朔平も猪狩もその陽氣な笑ひ聲に釣込まれて振り返ると、男の癖に黑縮緬の五ッ紋、ぞろりとしたお召の給と云ふ扮裝——何う見ても藝佼優然たる優男を取卷き、ごや〳〵と押掛たのは、昨夜より氣まづい思ひがつゞき、今朝から一度も顏を合せぬ妾のお雛で、そのお供を承はつた抱妓が二三人。

『お、！お前は。』と、朔平は咽喉元へ聲痰が引掛つたやうな聲を出した

『お雛でないか。』

『おや。』

お雛もさすがに面喰つたが、直ぐけろ〳〵した顏付で

『これから中洲の御本宅へお歸り？』

『何處へ行かうと入らざるお世話だ』と、猪狩と云ふ同伴の出來たのも點れ顏、藥罐頭から湯氣を立てた朔平は、躍々と女の傍へ近くすゝみ寄り、拔衣紋にしたその倉をごらんばかり、

『お前の同伴の……あの顏色の生白い化物は何だ？』と大聲。

嘵犬の癖に例へつべき、この一喝に面喰つた優男は、色眼鏡の下から細い眼をパチ付かせ、抱妓達と一緒にたゞ狼狽、お雛はけれど、ちつとも騷かなかつた。

『貫郎も野暮ね。』と、苦もなく笑ひ消して『何だつて大きな聲を……御贔屓になつてる旦那に濟みませんよ。』

『ふゝん！此方から贔屓をしてるんだらう。明日の晴雨も分らぬ先から相場の上下を見通す俺が、一日睨んで的を外れた例なし！お雛、俺と云ふ旦那のあるにも關らず、惡の脚のつまみ食ひをしてるな。』

四隣に遠慮なく喚鳴り立てられては、お雛も乘りかゝつた船の跡へは引かれず、それに此處らが好い潮時と、この間から別れ話を切り出さうと思つてゐた折なれば、此方からも負けずに衝突つて出た。

いもんだ。』

『何——何だと？』

『何だもおやないさ。怨うなつたら妾の方から緣を切つて上げるから、今日かぎり芳町の家へ出入は御斷り。ねえ、どんな浮氣もつまみ喰ひも自分の働きでするつて事。あんまり他人のことで焦燥するさ、餘計に頭が禿けますよ。』

これくらい未練氣なく愛想づかしされたら、男の面目は全く潰れで、その場はもう朔平は眼が眩んで、そこへ女を突伏せた。

『やい！貴樣は……貴樣は……』

そこへ、慌く飛込んだ猪狩が、背後から早速の惡變編め『ま、まあ、高松さんの御立腹は御道理だが……こゝは場所が惡いで、何』

『まことに憚り樣ね。』と權もほろゝに『妾が何をしやうと大きなお世話ぢやないか。二言目にや旦那〳〵と御大相らしいが、何が旦那らしい事をしてくれました。これ程の醫者を自慢にしやうと思つたら、まづ月に二百なり三百なりの纏まつた旦那なりを出すがい。先月はガラ鐘だからの、今月は些と都合が惡いのと見ッともない泣言よかり……それで旦那面もならうか手前にお任せな。』

『いや、制めて下さるな！この不貞腐阿魔を突殺さずば氣が濟まぬ。』

『さうでもあらうが……もう血迷ふ年配でない！評判ならば後刻で又何うでもつくで、この上にも恥辱の上塗せぬ中、こゝは些とも早く引揚げる事にな。』

『い、ねさ、殺すなら思ひ切りよく殺しておくれ。ふゝん、あんまり安ッぽく見て貰ひたくないね、これでも蔦永樂のお雛だよ！お前なんかに足蹴にされたまゝぢや濟まさないから。』と惡口雜言。

これでは、折角の仲裁も手を引かずばなるまい。

○誘拐者は前科六犯 彼二部大正[illegible]拋へ前婦十郎こと根本てつ（三[illegible]）[illegible]前科六犯の[illegible]僧を踏倒して元山へ逃れしが[illegible]出署の手に押へらる（元山）

讀者文藝（一等には五十錢[illegible]）

▽俗謠

題『菊』 一等なし

▲[illegible]菊の御紋に[illegible]　京城　春昭

▲小石日和に何の女の[illegible]に醉し　京城　東海

▲菊は日本の本家[illegible]御紋[illegible]　仁川　花翁

▲萬菊に菊亂れて咲いて[illegible]い天下泰平　元山　喜の字

▲花咲く國又菜の國菊[illegible]　平北　春翠生

晩秋の腦病治療法

頭痛、眩暈、逆上に注意せよ

先づ增田博士の療法を聞け。

文學士　木下茂雄氏談

■腦病の兆候……私が高等學校に居る時分には頭腦が惡くて隨分困つたものである。徹夜して勉强をしたり、强いお茶を飲んだ時や暗記物などを永くやつてゐると、頭腦が茫然して困つた。頬がポッポッと温り、逆上たり、頭痛がして奈何しても頭腦が明晰しない。夜は眠られず幾夜も怖い夢をみ、寢汗をかき、氣の拔けたビールの様な氣がして、身體は非常に衰弱し氣力は全く無くなり、何事をやつても速く倦怠がき到底辛棒してゐられなかつた。之れ即ち腦神經衰弱に罹つた爲めであつた。

◆腦病ほど不愉快な病氣はない……學生として記憶の惡いのほど困る事はない。仲間からは侮蔑され、他人からは人格を疑はれ、低腦だの、コムマ以下だなどと惡罵され實に憤慨に堪へない。學校に於てさへ頭腦の惡い者は一生浮ぶ瀬はないが、益して一家の主人たり支配人たる人は勿論の事使ふ人も使はれる者も頭腦の惡いと云ふ事は立身出世の障害である。この腦の惡いのは皆腦病から起るのであるから、一刻も早く頭腦を明晰にする必要がある。

□增田博士森學士の精神療法と常時學士の腦神經衰弱療法に依つて全く復活す……私の身體は段々衰弱し、記憶力は益減退し、私は矢張茫然して雜誌を讀んだり、散歩をしたりして遊んでゐた。或時私は腦病良藥レーベンのあることを知り早速レーベンの服用を續けると同時に、中南氏から常時學士の腦神經衰弱療法と、增田博士の神經療法の二冊を貰ひ受け、之を熟讀して熱心に養生した所が、何時のまにか頭腦は明晰になり、以前とは打つて變つて非常に快活な人間になつた、高等學校を卒業して、帝大に入學した頃は頭腦は頗る明晰であつた。腦病藥はレーベンは諸有腦病藥中で一番に効驗があり、他の腦病藥の樣に胃腸を害したり、下痢を起したりする樣な事はなかつた、之は私の實驗であるから僞りではない。論より證據先づ服用してごらん。尚ほハガキで申込めば救濟の爲め前記二冊の治療法は無代進呈する筈であるから、腦病で困つてゐる方は此際遠慮なしに申込まれたがよからう。

レーベンの藥價は三十錢、五十錢、八十五錢、一圓、一圓六十錢、三圓等で各地信用ある藥店で賣つてる

申込所　東京銀座尾張町三　振替東京二三一番　電話京橋三〇八番　中南定太郎

大阪安土町堺筋　振替大阪三四番　電話本局二〇〇七番　中南定太郎

桃谷研究試驗所創製

美顔白粉

弘く御婦人方のために

（第一回）

▲化粧調査會報告

雜誌「家庭顧問」掲載　同會承諾濟

茲に掲げます化粧の研究は常に新しい研究の結果で、其時に隨ひ處に應じて、皆さんが直ぐ其の通り、實行の出來る方法でありますからお讀みになつたら御實驗なさい。必ず手數も時間も費用も從來よりは節約され而して化粧の美しいことは驚く程でありませう。併し研究すればする程進歩し向上する化粧法ですから本會は常に調査研究して絶えず進歩した最新の方法を此處で報告致します。決してこれで行き止りといふ事のないのが本會努力の確かなる證據であります……（化粧調査會報告）

外出の化粧

入浴よりも手水＝手水の遣ひ方＝化粧下の仕方＝眞晝の外出の化粧の仕方＝夜間の化粧＝

お化粧の前の準備としては

まづ顔を洗ひますが、顔を洗ふ前に日本髪でも、束髪でも、髪を結ひ上げて、鏡臺前に少しも散亂つてないやうに後片付をし、髪結道具と化粧用具と混合しないやうにキチンと區別してから、手水を遣ふなり、入浴するなり致します。然し外出の化粧をするときの洗顔には其の人の體質によつて、皮膚も同じには參りませんが、概していひますと、

入浴よりも手水の方が宜い

のであります、それも化粧する二三時間も前に入浴するのならまだしも、化粧する前になつて入浴しますと、十分に洗ふ間がないのと、心が急きますので、烏の行水のやうになつて、折角の入浴も効がなく、化粧の調子が悪いのです、そればかりでなく、入浴しますと、皮膚が暖まつて、毛孔が開き、皮膚が柔かになります、それが外氣に觸れますと、今まで伸て居た皮膚が急に収縮するので、皮膚面が平になりません、

伸縮する爲めに白粉が落付

かないで、化粧を仕上げると直ぐに崩れたり、化粧の落付がありません、それで、入浴して直ぐにお化粧をしますと、その化粧して居る間は美しく仕上がつたやうに思つても、外へ出て直ぐに崩れたり、變つたりしますから、化粧前には、入浴して顔を洗ひますよりは手水を遣つて、それで化粧をなさる方が宜しいのであります。手水を遣ひますには、

双肌を脱いで洗面器に向ひ

顔や襟胸などを丁寧に洗ふのですが、日本髪に結ひますと髪裏に鬢付油を引きましたり一體に油を澤山用ひますから、生際や顔に油が付いて居ます。それをよく洗ひ落して置かないといけませんから、まづ石鹸を耳の後の生際から襟にかけ、それから咽喉、額、生際から揉上げ、耳、鼻、小鼻といふ順に塗りまして、指先や手掌でよく〱摩擦するやうにして洗ひ、その上で柔かいタオルかガーゼで洗ひ流してから、洗粉を掌に取り、

洗粉と同じ位の分量の水を

加へて兩手掌でよく煉り溶き、それを前と同じ順序に塗つてから、矢張り摩擦するやうにして洗ひ、指先が少し熱度を感じて、皮膚が滑らかに覺ねる頃に、お湯で洗ひ流し、更に新しいお湯に代てタオルかガーゼで洗ひ流し、少しも石鹸や洗粉の滓が殘らないやうにしてから乾いた顔フキンでよく乾かし、それから自分で化粧しやうと思ふ化粧——濃化粧か薄化粧か洋風の化粧か——によつて化粧下をするのであります。自分の皮膚の質も考へねばなりません、脂肪質ならサラリとした化粧水を引くとか、アレ性ならクリームを擦り込むとか、濃厚化粧液を引くといふやうにせねばなりませんが、一體に濃化粧ならば濃厚化粧液をコットンに浸して、襟から顔に塗け、擦り込むやうに附けた上を、顔フキンを濡して指先で輕く絞つて拭くやうにして押へ、薄化粧なら化粧水をコットンに浸して塗け、濡れた顔フキンで押へ、粉化粧なら、クリームを掌に取り、それをよく煉り伸してその掌で襟から顔に引き、擦り込むやうにした上を濡れた顔フキンで拭くやうにして均して置くのです。この

洗顔と化粧下が調つて居る

と居ないが、化粧の美しいと醜いとの岐路ですから、十分に注意して、丁寧に而して手早くすることを心掛けねばならないのです。これがよい加減にしてありますと、白粉が固つて、ヨリが出來たり、斑になつたりして、いくら手をかけても美しく出來上りませんで、又初めから洗ひ直さねばならぬといふ二度三度の手數がかゝつて、それで氣に入るやうな化粧が出來ません、さてこれから

化粧に取りかゝりますのに

眞晝の外出でしたら、餘り濃くない方が宜しいのですから水白粉の濃いのを皿に取り、板刷毛でそれをよく均し、耳の後から襟脚に沿ふて襟に塗け、よく牡丹刷毛で刷き伸し、それで少し淡いと思ひましたら、その上から今一度塗けて濃くし、咽喉から頸へ、後は背筋の上から横は肩まで、前は胸にかけ、丁度、衣服を着て、襟や胸明から見ねる處だけには、白粉を塗けて置かねばなりません、それで襟白粉が濟みましたら、

鼻から白粉を竪に一本引き

その白粉の殘りで、左右に牡丹刷毛で刷き伸し、更に口の周圍に白粉を塗け、牡丹刷毛で刷き伸して揉上の下、耳の後の襟白粉と合ひ、その堺目をよく合せて、際立たず襟から顔へかけては、自然と淡まつて行くやうな加減にして、それから今まで刷き伸して居た牡丹刷毛で眼の周圍から額を刷き付け、顔フキンを濕して指先で輕く絞り、それで輕く押へた上から粉白粉をパツフに附けて、襟から顔を刷き付けて仕上げをします、それで白粉が落付いた處で、化粧フキを指先に巻き

生際や眉の毛に附いた白粉

を拭き取ります、水白粉や煉白粉の固まつたのは、化粧フキのガーゼの方を濕して拭けば取れますが乾いたのは絹の方で拭き取り、粉白粉の附いたのは、ガーゼの乾いた方で拭き取るのであります。以上は普通眞晝の外出の場合ですが、若しこれが年の若い人の

濃化粧ならば水白粉でなく

煉白粉を襟に用ひ、顔は煉白粉をトキ皿に取り、それへトキ水を加へて溶き薄めて用ふるのが宜しいのです、それから用ひます白粉も、濃淡ならば白色か肌色の白粉が十人向で宜しいので、血色の極めて悪い人とか、冷氣が大分強いとかいふ時以外には淡紅色や綠紅色などは、あまり用はないのがよいので、下手に用ひて醜くなるよりも、用はないで無難の方が、いくら宜いか知れません、併しこれが

夜間であるとかいふ時

であるとかいふのならば、化粧も濃い加減にして白粉も顔だけ淡紅色の上を水白粉を塗けその上に肌色の粉白粉で刷いて置くとか、白色の水白粉を刷いて置くのは宜しいのですが、襟には綠色か白色か肌色以外の色白粉は用つてならぬのであります、それから又

眉の色は餘り濃くないやう

にしませんと、襟は目立つて態とらしく、夜は一種の險を帶びて、顔全體にいかつくなつて、可惜愛すべき婦人の顔が、悪相になつて見ねますから、眉の色は自然色の、殊更らしい濃い色でないのが宜しいのです。

顔に調和させる手先の化粧法

美しい手と不恰好な手＝不恰好の手を恰好よく＝化粧した顔と手＝日常の手先の保護＝ヒヤアカギレを防ぐ

……果物の中で、手を擧げて行くさうです。これは血液が下つて、手が綺麗

外國の婦人が外出するとき

になるからだといひますが、一體に西洋人の手は不恰好で、日本人のやうに、白魚を並べたといつた風の優美な處がありませんので、手先の化粧には少からず苦心して居るのです。處が日本人殊に婦人の手は、世界第一の美しい手として認められるだけあつて、その恰好が非常に出來て美しい爲めに、餘りこれが化粧に氣を付けるものがなかつたのですが、近頃になつて、大分手の化粧に注意が拂はれ、美爪術が發達するやうになりました

顔ばかり美しく化粧しても

是といふのも手先が穢くては、お雛様がお賓頭盧様の手を借りて來たやうで見苦しいから、矢張、顔の美しさに調和の美しさに化粧せねばならぬ事が知られたからであります。さればこそ手先の化粧といふのは、袖口から先に露出せらるゝ部分、即ち小手先を美しくするのにありまして、その方法は、手先、指先の恰好を調へることゝ、その色艶を美しくすることゝの二方面あります。それで西洋人のやうに、

不恰好の手先を好い恰好に

するのには、外國では好い恰好にした金具を指先に嵌めて寢るといふ方法を行つて居ます。かうしますと朝になつて指先が細りとして尖り味のある形が出來るからであります。それに爪の化粧に鑢を付けて、爪と肉との間に、白い三日月形の斑點（小爪）を出して置くのを、健康の表徴、美しい誇りとして居りますので、その肉をレモンの棒で掻き上げて、小爪を現はすこともに、其處の肉がフックリと高くなつていかにも、健康な美しさの出るやうにして居ります。が、日本婦人の手は夫程までにせずとも、生れ付きの美しさで十分といつてもよい位ですが、たゞその顔に調和つただけの美しさを添へねばなりません、それには、髪も結ひ上げ、お化粧も濟ませてから、

お化粧を美しくした時には

襟に用ひます板刷毛に、水白粉を含ませ、腕から手先にかけて塗りました上に、粉白粉を少し刷きかけ、よく擦り込み微温湯を洗面器に取つて、その中に腕から手を浸した後で、乾いた顔フキンでよく拭き上げるのであります。又、着物まで着て了つてから、水白粉を薄めにして塗つた後を濡れた顔フキンで拭き取つて置いても宜しいのです。併し白粉を塗けないこと、又は

日常の身だしなみだけの時

ならば、別にこんな化粧をする必要はありません。たゞ手をよく洗つて白粉などが殘らないやうにして、顔フキンでよく拭き水分のなくなるまで拭き上げてから、化粧水なり、クリームなりを少し引いて、兩手を重ね合して摩擦して擦り込むやうにした上を、顔フキンの濡れたので拭き取るやうにして押へて置けばよいのであります。それから、どんな美しい手の生れ付でも、平素の手習が屆きませんと、指の恰好は悪くなる、色艶は悪くなつて來ます。手遊さへよければ、することが出來るものであります。荒い仕事、劇しい勞働をすると、手

恰好の悪い指も好い恰好に

の形が悪くなりますのは仕方がないのですが、いくら劇しいといつても、家庭内の荒い仕事とか、洗濯などをした處で、たいした事はないものです。すべて用事を濟ませた後では、微温湯で手先を洗ひ乾いた顔フキンでよく水分を拭き乾かし、脂切つて困る方なら、化粧水を塗け、荒れて困る方なら、クリームを少し附け兩手で代る〲に摩擦して、よく擦り込んだ上を顔フキンで拭き取るやうに撫で付け、指も互ひに一本づゝ右の方法で手入をなしますと、冬になつてもヒビやアカギレに罹ることがなく美しい手をいつ〱までも保つことが出來るのであります。忘れても

水分を拭き乾かさずに其の儘

空氣に觸れたり、火にかざしたりしてはならぬのです。手が荒れて醜くなりますことは顔を洗つて拭が足りないことゝ同じ結果になりまして、ヒビ、アカギレ、シモヤケなどを好んで生きさせるやうなものですから、よく御注意をなさらねばなりません。

婦人の髪の毛

婦人の髪の毛は、一ケ月に平均二分五厘から四分ばかり伸び、毛の壽命は平均千六百日即ち四年半ばかりで脱ける。二十年から三十年の男女は、一日に三十本から五十本の脱毛がある。

雜誌「家庭顧問」は御婦人方唯一の相談相手として、名流大家援助の下に設立せられたる東京市麹町區内幸町一ノ六化粧調査會の發行に係り毎月一回發行＝一部金拾錢也